

2007 年秋季年会

年会プログラム

於 岐阜大学

2007 年 9 月 26 日 (水) ~ 9 月 28 日 (金)

日本天文学会

日本天文学会 2007 年秋季年会プログラム

期 日 2007 年 9 月 26 日 (水) ~ 9 月 28 日 (金)

場 所 岐阜大学 (岐阜市柳戸 1-1)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2007 年 9 月 25 日 (火) ~ 9 月 29 日 (土) >

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
9月25日 (火)								記者会見					
9月26日 (水)	A		B. 銀 河 系	昼休み (理事会)	ポスター		B. 銀 河 系	学術振興会 特別セッ ション (I会場)	天文教育 フォーラム (I会場)				
	B	A1. プラズマ	A1. プラズマ										
	C	Q. 星 間	Q. 星 間										
	D	N. 恒 星	N. 恒星 / P. 星・惑星										
	E	X. 銀河形成	X. 銀河形成 / Y. 教育・他										
	F	K. 超新星爆発	U. 宇 宙 論										
	G	S. 銀 河 核	S. 銀 河 核										
	H	T. 銀 河 団	W. 飛 翔 観										
	I	A2. プラズマ	A2. プラズマ										
9月27日 (木)	A		B. 銀 河 系	ポスター	昼休み (評議員会)		C. 第一世代星	総会 出席終了 確認 (I会場)	受賞記念講演	懇親会			
	B	A1. プラズマ	A1. プラズマ										
	C	M. 太 陽	M. 太 陽										
	D	P. 星・惑星	P. 星・惑星										
	E	J. 高密度星	J. 高密度星										
	F	R. 銀 河	R. 銀 河										
	G	V. 地 上 観	V. 地 上 観										
	H	W. 飛 翔 観	W. 飛 翔 観										
	I	A2. プラズマ	A2. プラズマ										
9月28日 (金)	A		C. 第一世代星	ポスター	昼休み		C. 第一世代星						
	B	A1. プラズマ	A1. プラズマ										
	C	M. 太 陽	M. 太 陽										
	D	P. 星・惑星	P. 星・惑星										
	E	J. 高密度星	J. 高密度星										
	F	R. 銀河 / L. 太陽系	L. 太 陽 系										
	G	V. 地 上 観	V. 地 上 観										
	H	W. 飛 翔 観	W. 飛 翔 観										
	I	A2. プラズマ	A2. プラズマ										
9月29日 (土)								公開講演会					
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	

- A 会場 : 全学共通教育棟 1F (104 教室)
- B 会場 : 全学共通教育棟 1F (103 教室)
- C 会場 : 全学共通教育棟 1F (102 教室)
- D 会場 : 全学共通教育棟 1F (101 教室)
- E 会場 : 全学共通教育棟 1F (105 教室)
- F 会場 : 全学共通教育棟 2F (28 教室)
- G 会場 : 全学共通教育棟 2F (27 教室)
- H 会場 : 全学共通教育棟 2F (25 教室)
- I 会場 : 講堂

- ポスター会場 : 第二体育館
- 受 付 : 全学共通教育棟 1F
- 第 1 会議室 : 全学共通教育棟 1F (第 1 会議室)
- 第 2 会議室 : 全学共通教育棟 1F (第 2 会議室)
- 展示コーナー : 全学共通教育棟 1F (1C 教室)
- インターネット室 : 全学共通教育棟 1F (1C 教室)
- 懇親会会場 : 生協第二食堂

◎講演数

講演数：合計 699

(口頭講演 (a)：461、ポスター講演 (b)：202、ポスター講演 (c)：36)

◎参加登録について（参加者は、当日必ず参加登録をして下さい。）

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講演登録費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年会予稿集	1,000 円 (消費税込み)	1,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付（全学共通教育棟 1F）

○参加登録受付時間：9 時 00 分～16 時 00 分

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、所属機関で必要となる場合もありますので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費を支払う必要があります。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 9 会場で行います。口頭講演（添字 a）は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演（添字 b）は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表（添字 b）、（添字 c）は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180 × 横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、9 月 26 日の 9：30 から 9 月 28 日の 14：00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP または液晶プロジェクターをご使用下さい。液晶プロジェクターの使用に際しては、セッション開始迄に接続を確認し、念のため OHP での発表もできるようにしておいてください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始めるよう、液晶プロジェクターを使用される方は、事前に PC をケーブルにつないでおいてください。

◎会期中の行事

1. 記者会見：25日(火) 14:00～15:00 岐阜大学 全学共通教育棟 1F 第1会議室
年会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. 理事会：26日(水) 12:00～13:00 第1会議室
3. 学術振興会特別セッション：26日(水) 16:35～17:35 I 会場
4. 天文教育フォーラム：26日(水) 17:40～18:40 I 会場
5. 評議員会：27日(木) 12:30～13:30 第1会議室
6. 総会：27日(木) 15:30～17:00 I 会場
(15:30～16:00 総会出席者確認、16:00 総会開始)
 - 2008 年度事業計画
 - 2008 年度収支予算
 - 第 17 期評議員候補者
7. 研究奨励賞受賞記念講演：27日(木) 17:00～18:00 I 会場
 - 「初期世代星にみる宇宙の元素合成」 青木和光 (国立天文台・助教)
 - 「銀河の進化とブラックホールの成長」 秋山正幸 (国立天文台・RCUH 職員)
 - 「この 10 年のガンマ線バースト研究をふり返って」 戸谷友則 (京都大学・准教授)
8. 懇親会：27日(木) 18:30～ 生協第二食堂
9. 公開講演会：29日(土) 14:00～17:00 岐阜県県民文化ホール

◎日本学術振興会特別セッション

主 催：日本学術振興会

テ ー マ：「科学研究費補助金制度・特別研究員制度について」

日 時：2007年9月26日(水) 16:35～17:35

場 所：I会場

主 旨： 研究者を支える科研費制度と特別研究員制度については、近年様々な改革がなされています。新種目の設置、申請書式の改善、電子申請の導入、審査制度の改革、若手支援制度の充実、年度繰越の明許、柔軟な運用指針への改善など、研究者の立場に立った改善が、急速になされてきました。近年の改革に大きな役割を果たしてきたのが、平成15年度に発足した日本学術振興会の学術システム研究センターです。センターでは科研費・特別研究員制度の改善について事務局と一丸となって検討し、速やかな改善を実現してきました。一方で、不正使用問題を巡る規制強化や、研究現場の声を無視した「改革」提言などが渦巻く状況が生じています。

科研費制度と特別研究員制度の最新状況について、日本学術振興会では毎年全国約8カ所の大学で説明会を開いておりますが、若手も含めた研究者が多く集まる各学会の年会で説明会を開催する企画の一環として、天文学会における本特別セッションを企画しました。

科研費制度と特別研究員制度をよりよく理解して、研究活動に有効に利用していただければ幸いですので、奮ってご参加下さるようお願いいたします。

- プログラム： 1) あいさつ (5分) 学術システム研究センター審議役 宮嶋和男
- 2) 事業説明 (40分) 学術システム研究センター数物系科学主任研究員 家 正則
科研費制度と特別研究員制度の概要を把握していただくため、科研費と特別研究員の枠組み、審査の流れ、最近の変更点などについて、様々な統計資料も活用して説明させていただきます。
- 3) 質疑応答 (15分)

◎天文教育フォーラム

共催：天文教育普及研究会

テーマ：「法人化・指定管理者制度化の前と後」

日時：2007年9月26日（水）17：40～18：40

場所：I会場

概要：国立天文台や宇宙科学研究所などが法人化されたのに続き、国立大学が法人化され、数年が経ちました。また、社会教育施設でも、ここ数年で指定管理者制度が急速に導入されつつあります。これらはいずれも少なからぬ反対があったにも拘わらず導入された制度ですが、長短どちらの方向にも導入前の予想とは異なった点があることが、そろそろ見え始めているのではないかと考えられます。

法人化・指定管理者制度化によってもたらされた短期的功罪、危惧に対する対応策の履行状況、導入後に明らかになった新たな問題点、研究教育普及体制に及ぼす長期的影響の予想などについて、関係者が改めて考える場を設けるのに妥当な時期に現在は当たっていると考えられることもできます。

そこで、今回のフォーラムは、この点をテーマに話し合うことにしました。本質的な問題はどこにあり、改善策として我々は何を求めるべきなのか、我々に可能なことは何かを話し合い、よりよい未来をめざす動きへと繋げたいと思います。

ごく短い基調講演を大規模大学、小規模大学、社会教育施設の3名にお願いする予定です。この3名が中心となって、パネルディスカッションを行い、会場の皆さんと認識を共にし、議論を深めたいと思います。

出席予定者（敬称略）パネラー：

安藤享平（郡山市ふれあい科学館）、岡村定矩（東京大学）、富田晃彦（和歌山大学）

司会：黒田武彦（西はりま天文台）

実行委員：半田利弘（東京大学）、松本直記（慶應義塾高等学校）、沢武文（愛知教育大学）、大西高司（名古屋市科学館）

◎日本天文学会公開講演会

後援：岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、
岐阜県高等学校理化教育研究会、
岐阜県高等学校地学教育研究会、
岐阜天文台、中日新聞社、NHK 岐阜放送局

協力：岐阜市科学館

テーマ：「技術開発が拓く宇宙の扉」

日時：2007年9月29日（土）14：00～17：00（開場13：30）

場所：岐阜県県民文化ホール 未来会館・長良川ホール

対象：中学生以上・一般向け

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。

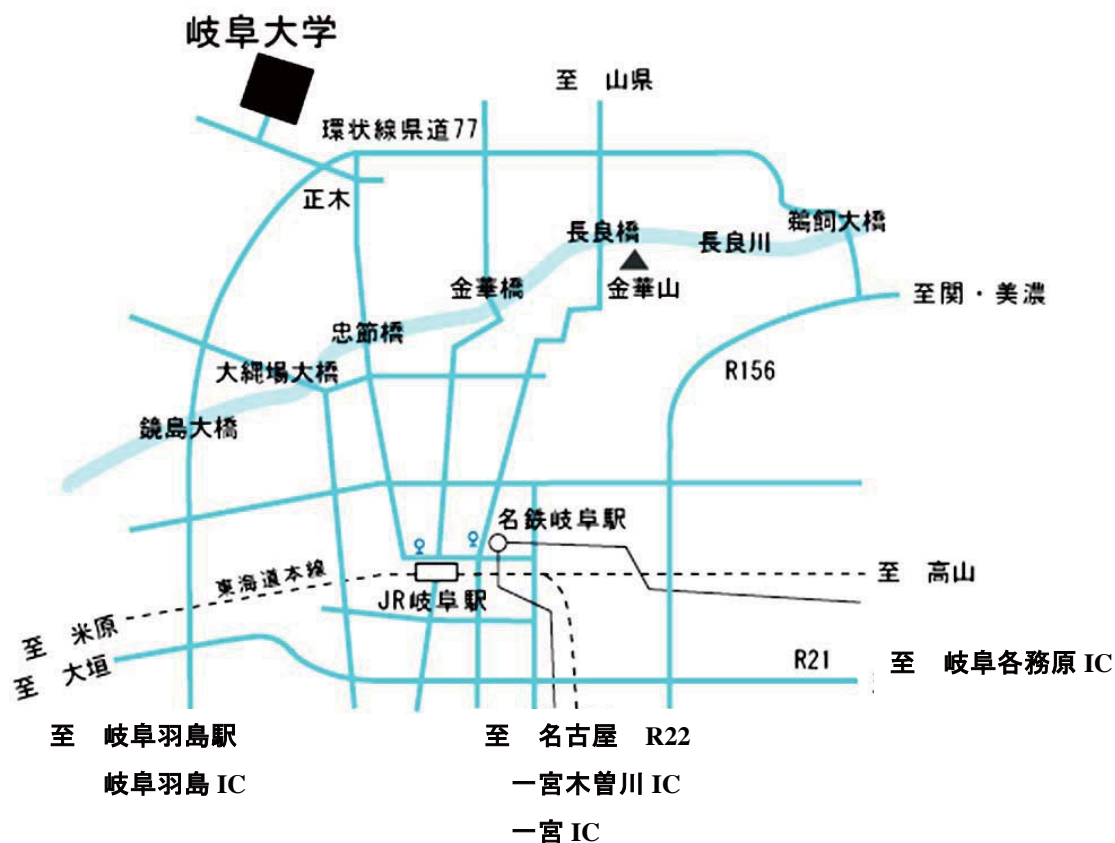
講演 I：「すばる望遠鏡から超巨大望遠鏡へ」

講演者：家正則（国立天文台・教授）

講演 II：「赤外線天文衛星「あかり」が挑む暗黒の宇宙」

講演者：中川貴雄（宇宙航空研究開発機構・教授）

秋季年会会場（岐阜大学）のご案内



岐阜大学交通アクセス <http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?cd=393>

(1) JR 東海道線岐阜駅、名鉄岐阜駅：

JR 名古屋駅から JR 岐阜駅まで快速で 18 分、名鉄名古屋駅から名鉄岐阜駅まで約 30 分

1. バスを利用する場合（約 30 分、310 円）

行き先	路線名	経由	JR 岐阜駅	名鉄岐阜駅（北進）
岐阜大学	岐阜大学キャンパス線	忠節橋	3 番のりば	5 番のりば
岐阜大学・岐阜大学病院	岐阜大学病院線	忠節橋	3 番のりば	5 番のりば
岐阜大学	岐南町線	長良橋	3 番のりば	4 番のりば

2. タクシーを利用する場合（約 20 分、2500 円程度）

(2) JR 新幹線・岐阜羽島駅：（名鉄岐阜行きへの接続が悪く JR 名古屋下車をおすすめ）

1. 岐阜羽島駅から名鉄竹鼻線で名鉄岐阜駅まで約 40 分、名鉄岐阜駅からは上記参照

2. タクシーを利用する場合は、岐阜大学まで約 40 分、5000 円程度

(3) 中部国際空港（セントレア）:

- ・名鉄・空港特急/ミュースカイ（全車特別車）または特急で、名鉄岐阜駅まで1時間程度

(4) 県営名古屋空港（旧名古屋空港）から:

- ・とちぎ帯広、秋田、山形、新潟、松山、高知、熊本、長崎、福岡を結んで運航。
- ・空港から岐阜への直通バスはない。バスでJR名古屋駅まで約30分。

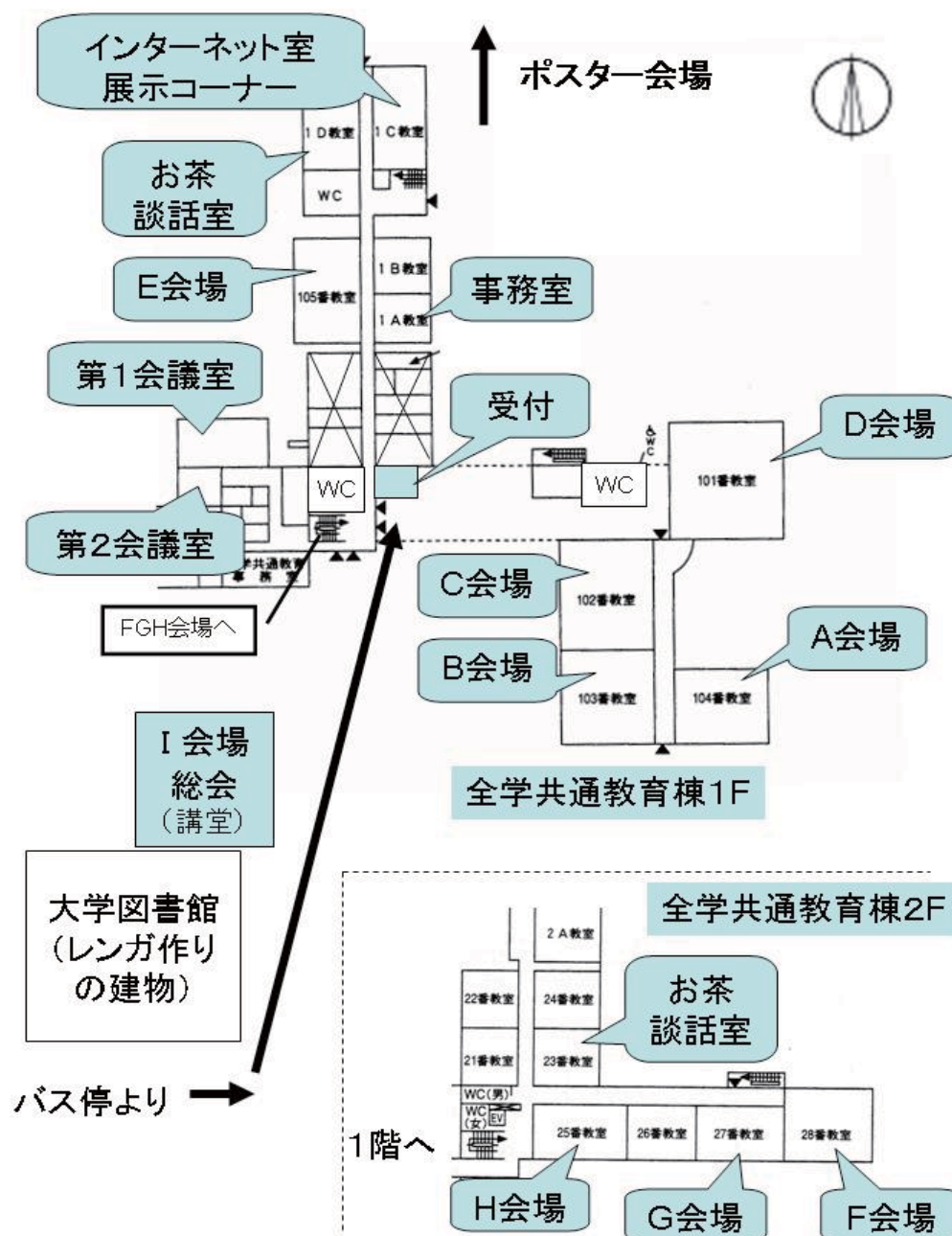
(5) 自家用車を利用する場合（大学駐車場利用可、入口ゲートで天文学会と伝えて下さい）:

- ・名神高速道路 岐阜羽島ICから約20km、一宮ICから約25km
- ・東海北陸自動車道 岐阜各務原ICまたは一宮木曾川ICから約20km

キャンパス図（岐阜大学）



講演会場案内図



注意： 岐阜大学は全面禁煙となっています。路上の喫煙もご遠慮ください。

昼食： 生協第一食堂、第二食堂、グリル喫茶（第二食堂隣）が利用できます。
このほか大学病院2Fや大学進入路より徒歩5分程度にも4-5軒飲食店があります。

年会開催地 HP： <http://www.made.gifu-u.ac.jp/~vlbi/index.html>

口頭セッション 9月26日(水)

開始時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	
	【銀河系】	【プラズマ】	【星間】	【恒星】	【銀河形成】	【超新星爆発】	【銀河核】	【銀河団】	【プラズマ】	
10:00	B01r	A101a	Q01a	N01a	X01a	K01a	S01a	T01a	A201r	
10:12			Q02a	N02a	X02a	K02a	S02a	T02a		
10:24			Q03a	N03a	X03a	K03a	S03a	T03a		
10:36			Q04a	N04b - N06b	X04a	K04a	S04a	T04a		
10:48			Q05b, Q08b, Q09b	N08a	X06a	K05a	S05a	T05a		
11:00		B13a	A113b	Q10a	N09a	X07a	K06a	S06a	T06a	A214b
11:12				Q11a	N10a	X08a	K07a	S07a	T07b - T09b	
11:24				Q12a	N11a	X09b - X11b	K08a	S08a	T10a	
11:36				Q13a	N12b - N14b	X12a	K09a	S11b, S13b, S14b	T11a	
11:48				Q14b - Q16b	N15b - N17b	X13a	K10a	S15b - S17b	T12a	
12:00	-	-	X14b, X15b	K11b, K12b	S18b - S20b	T13a				
12:12	-	-	-	-	-	T14b				
12:00	昼休み									
13:00	ポスター									
	【銀河系】	【プラズマ】	【星間】	【恒星/ 星・惑星】	【銀河形成/ 教育】	【宇宙論】	【銀河核】	【飛翔観】	【プラズマ】	
14:00	B14a	A114a	Q17a	N18a	X16a	U01a	S21a	W01a	A215a	
14:12			Q18a	N19a	X17a	U03a	S22a	W02a		
14:24			Q19a	N20a	X18a	U04a	S23a	W03a		
14:36			Q20a	N21a	X19a	U05a	S24a	W04a		
14:48			Q21a	N22a	X20a	U06a	S25a	W05a		
15:00		B28a	A123a	Q22a	P01a	X21a	U07a	S26a	W06a	A224a
15:12				Q23a	P02a	X22b - X24b	U08a	S27a	W07a	
15:24				Q24a	P03a	X25a	U10a	S28a	W08a	
15:36				Q25a	P04a	Y01a	U11a	S29a	W09a	
15:48				Q26a	P05a	Y02a	U12a	S30a	W10b-W12b	
16:00	Q27a	P06a	Y03b - Y05b	U13a	S31a	W13b, W14b				
16:12	Q28b, Q29b	P07a	Y06b - Y08b	U14b - U16b	S32a	-				
16:24	-	-	Y10b, Y11b	U18a	-	-				
16:35	学術振興会特別セッション (I会場)									
17:40	天文教育フォーラム (I会場)									

口頭セッション 9月27日(木)

開始時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
	【銀河系】	【プラズマ】	【太陽】	【星・惑星】	【高密度星】	【銀河】	【地上観】	【飛翔観】	【プラズマ】
09:30	B29r	A124r	M01a	P08a	J01a	R01a	V01a	W15a	A225r
09:42			M02a	P09a	J02a	R02a	V02a	W16a	
09:54			M03a	P10a	J03a	R03a	V03a	W17a	
10:06			M04a	P11a	J04a	R04a	V04a	W18a	
10:18			M05a	P12a	J05a	R05a	V05a	W19a	
10:30	∩	∩	M06a	P13a	J06b - J08b	R06a	V06a	W20a	∩
10:42	B38a	A129a	M07a	P14b - P16b	J09a	R09b - R11b	V07b - V09b	W21a	A233a
10:54			M08a	P17b - P19b	J10a	R12b - R14b	V10b - V12b	W22b-W24b	
11:06			M09b - M11b	P20b - P22b	J11a	R15a	V13a	W25b-W27b	
11:18			M12b	P23b - P25b	J12a	R16a	V14a	W28b,W29b, W31b	
11:30			-	-	J13b	-	-	W32b-W34b	
11:30	ポスター								
12:30	昼休み								
	【第1世代】	【プラズマ】	【太陽】	【星・惑星】	【高密度星】	【銀河】	【地上観】	【飛翔観】	【プラズマ】
13:30	C01a	A130a	M14a	P26a	J16a	R17a	V15b - V17b	W35a	A234a
13:42			M15a	P27a	J17b - J19b	R18a	V18b - V20b	W36a	
13:54			M16a	P28a	J20a	R19a	V21b - V23b	W37b-W39b	
14:06			M17a	P29a	J21b - J23b	R20a	V24b - V26b	W40a	
14:18			M18a	P30a	J24b - J26b	R21a	V27b,V29b, V30b	W41a	
14:30	∩	∩	M19a	P31a	J27a	R22a	V31a	W42a	∩
14:42	C09a	A138a	M20a	P32a	J28b - J30b	R23a	V32b - V34b	W43a	A241a
14:54			M21a	P33a	J31a	R24a	V35a	W44a	
15:06			M22a	P34a	J32a	R25a	V36a	W45b,W47b, W48b	
15:18			M23a	-	J33a	R26a	V37b - V39b	W49b, W50b	
15:30	総 会 (I会場)								
17:00	受賞記念講演 (I会場)								
18:30	懇 親 会								

口頭セッション 9月28日(金)

開始時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
	【第1セッション】	【プラズマ】	【太陽】	【星・惑星】	【高密度星】	【銀河/ 太陽系】	【地上観】	【飛翔観】	【プラズマ】
09:30	C10a	A139a	M24a	P35b - P37b	J34a	R27a	V44a	W51a	A242a
09:42			M25a	P38b - P40b	J35a	R28a	V45a	W52a	
09:54			M26a	P41b - P43b	J36a	R29a	V46a	W53a	
10:06			M27a	P45a	J37a	R30a	V47a	W54a	
10:18			M28a	P46a	J38b - J40b	R31a	V48b, V49b, V52b	W55b-W57b	
10:30	∩	∩	M29a	P47a	J43a	R32a	V53a	W58a	∩
10:42	C19a	A146a	M30a	P48a	J44a	L01a	V54a	W59b-W61b	A249a
10:54			M31a	P49a	J45a	L02a	V55b - V57b	W62b-W64b	
11:06			M32a	P50a	J46a	L03b, L07b, L08b	V58a	W65b-W67b	
11:18			M33a	P51a	J47b - J49b	L09b, L10b	V59b - V61b	W68a	
11:30			-	-	J50b	-	V62b	W69a	
11:30	ポスター								
12:30	昼休み								
	【第2セッション】	【プラズマ】	【太陽】	【星・惑星】	【高密度星】	【太陽系】	【地上観】	【飛翔観】	【プラズマ】
13:30	C20a	A147a	M34a	P52a	J51a	L11a	V64a	W70a	A250a
13:42			M35a	P53a	J52a	L12a	V65a	W71a	
13:54			M36a	P54a	J53a	L13a	V66a	W72a	
14:06			M37a	P55a	J54a	L14a	V67a	W73a	
14:18			M38a	P56a	J55a	L15a	V68a	W74a	
14:30	∩	∩	M39a	P57a	J56a	L16a	V69a	W75a	∩
14:42	C29a	A153a	M40a	P58a	J57a	L17a	V70a	W76a	A254a
14:54			-	-	J58a	L18a	V73a	W77a	
15:06			-	-	-	L19a	V74a	W78a	
15:18			-	-	-	-	V75a	-	

ポスターセッション 9月26日(水) ~ 9月28日(金)

【プラズマ】(10)					【活動銀河核】(12)				
A109b	A110b	A111b	A112b	A113b	S09c	S10c	S11b	S12c	S13b
A210b	A211b	A212b	A213b	A214b	S14b	S15b	S16b	S17b	S18b
【銀河系】(10)					S19b	S20b			
B06b	B07b	B10b	B18b	B19b	【銀河団】(4)				
B20b	B24b	B35b	B39c	B40c	T07b	T08b	T09b	T14b	
【高密度星】(27)					【宇宙論】(6)				
J06b	J07b	J08b	J13b	J14c	U02c	U09c	U14b	U15b	U16b
J15c	J17b	J18b	J19b	J21b	U17c				
J22b	J23b	J24b	J25b	J26b	【地上観測機器】(47)				
J28b	J29b	J30b	J38b	J39b	V07b	V08b	V09b	V10b	V11b
J40b	J41c	J42c	J47b	J48b	V12b	V15b	V16b	V17b	V18b
J49b	J50b				V19b	V20b	V21b	V22b	V23b
【超新星爆発】(2)					V24b	V25b	V26b	V27b	V28c
K11b	K12b				V29b	V30b	V32b	V33b	V34b
【太陽系】(8)					V37b	V38b	V39b	V40c	V41c
L03b	L04c	L05c	L06c	L07b	V42c	V43c	V48b	V49b	V50c
L08b	L09b	L10b			V51c	V52b	V55b	V56b	V57b
【太陽】(5)					V59b	V60b	V61b	V62b	V63c
M09b	M10b	M11b	M12b	M13c	V71c	V72c			
【恒星】(10)					【飛翔体観測機器】(39)				
N04b	N05b	N06b	N07c	N12b	W10b	W11b	W12b	W13b	W14b
N13b	N14b	N15b	N16b	N17b	W22b	W23b	W24b	W25b	W26b
【星・惑星形成】(22)					W27b	W28b	W29b	W30c	W31b
P14b	P15b	P16b	P17b	P18b	W32b	W33b	W34b	W37b	W38b
P19b	P20b	P21b	P22b	P23b	W39b	W45b	W46c	W47b	W48b
P24b	P25b	P35b	P36b	P37b	W49b	W50b	W55b	W56b	W57b
P38b	P39b	P40b	P41b	P42b	W59b	W60b	W61b	W62b	W63b
P43b	P44c				W64b	W65b	W66b	W67b	
【星間現象】(10)					【銀河形成】(9)				
Q05b	Q06c	Q07c	Q08b	Q09b	X05c	X09b	X10b	X11b	X14b
Q14b	Q15b	Q16b	Q28b	Q29b	X15b	X22b	X23b	X24b	
【銀河】(8)					【天文教育・他】(9)				
R07c	R08c	R09b	R10b	R11b	Y03b	Y04b	Y05b	Y06b	Y07b
R12b	R13b	R14b			Y08b	Y09c	Y10b	Y11b	

A1. プラズマ宇宙物理

<p>9月26日(水) 午前・B会場 サブセッション2：粒子加速・加熱</p>			
10:00	<p>A101a 地球・惑星プラズマの粒子加速現象・15分 坂野井 健 (東北大学)</p>	12:07	<p>A113b 相対論的衝撃波と反平行磁場の相互作用による磁場の散逸と粒子加速・3分 永田健太郎 (大阪大学)</p>
10:15	<p>A102a 地球放射線帯における高エネルギー電子加速・12分 三好由純 (名古屋大学)</p>	<p>9月26日(水) 午後・B会場 サブセッション2：粒子加速・加熱(続き)</p>	
10:27	<p>A103a 地球磁気圏尾部リコネクション領域での電子加速・12分 湯村 翼 (宇宙航空研究開発機構)</p>	14:00	<p>A114a 太陽コロナ中の高エネルギー電子と硬X線放射・20分 増田 智 (名古屋大学)</p>
10:39	<p>A104a 地球磁気圏尾部における非熱的粒子の生成過程・12分 平井真理子 (東京大学)</p>	14:20	<p>A115a 太陽風中のアルフヴェン波のパラメトリック不安定性・12分 成行泰裕 (九州大学)</p>
10:51	<p>A105a 地球磁気圏境界面 Kelvin-Helmholtz 渦のプラズマ・電磁場の直接観測・12分 西野真木 (宇宙航空研究開発機構)</p>	14:32	<p>A116a 速度勾配のある太陽風中における Alfvén 波の発展・12分 坪内 健 (情報通信研究機構)</p>
11:03	<p>A106a GEOTAIL による温度異方性を考慮した slow-mode 衝撃波の解析・12分 岡部勝臣 (宇宙航空研究開発機構)</p>	14:44	<p>A117a 天体における粒子加速：観測的側面から・15分 森 正樹 (東京大学)</p>
11:15	<p>A107r 地球ガンマ線の発見と新展開・20分 高橋幸弘 (東北大学)</p>	14:59	<p>A118a X線宇宙衛星「すざく」による銀河系内宇宙線加速機構に関連する成果・20分 馬場 彩 (宇宙航空研究開発機構)</p>
11:35	<p>A108a 天体コロナでの波動乱流によるプラズマ加熱、加速過程・20分 鈴木 建 (東京大学)</p>	15:19	<p>A119a 天体プラズマの粒子加速の理論に関する最近の話題・15分 山崎 了 (広島大学)</p>
11:55	<p>A109b 雷雲電場による粒子加速の地上観測・3分 榎戸輝揚 (東京大学)</p>	15:34	<p>A120a 連結階層シミュレーションによる衝撃波粒子加速の解析・20分 杉山 徹 (海洋研究開発機構)</p>
11:58	<p>A110b 「すざく」衛星によるカリーナ星雲東端部の広がった軟X線放射の観測・3分 江副祐一郎 (理化学研究所)</p>	15:54	<p>A121a 衝撃波中の小パルスによる電子加速・12分 佐藤正俊 (名古屋大学)</p>
12:01	<p>A111b チベット高原における極超高エネルギーガンマ線観測計画(II)・3分 西澤正己 (国立情報学研究所)</p>	16:06	<p>A122a 衝撃波遷移層におけるプラズマ不安定と粒子加速・12分 天野孝伸 (東京大学)</p>
12:04	<p>A112b 無衝突垂直衝撃波における加速と加熱・3分 大平 豊 (大阪大学)</p>	16:18	<p>A123a 斜め衝撃波による電子の加速と捕捉・解放・12分 樋田美栄子 (名古屋大学)</p>

9月27日(木) 午前・B会場 サブセッション4：プラズマ計測・診断			
09:30	A124r テラヘルツ/サブミリ波による宇宙プラズマの計測・20分 松尾 宏 (国立天文台)	14:30	A134a 磁気圏型プラズマ装置 RT-1 における初期計測実験・12分 齋藤晴彦 (東京大学)
09:50	A125a 中高エネルギー粒子観測イメージャーの開発・15分 高島 健 (宇宙航空研究開発機構)	14:42	A135a TS-4 プラズマ合体装置を用いた磁気リコネクションの非定常効果の実験的検証・12分 林 由記 (東京大学)
10:05	A126a 太陽コロナプラズマ EUV 分光診断に対する実験室からの貢献・15分 中村信行 (電気通信大学)	14:54	A136a ハイブリッドイオンプラズマ中ドリフト波に対するフロー速度シアの効果・12分 金子俊郎 (東北大学)
10:20	A127a 多層膜硬X線望遠鏡による撮像観測・15分 國枝秀世 (名古屋大学)	15:06	A137a 電子・陽子プラズマ中の無衝突衝撃波のシミュレーション・12分 加藤恒彦 (大阪大学)
10:35	A128a プラズマ熱流束測定の較正法・12分 松浦寛人 (大阪府立大学)	15:18	A138a Study of X-ray Photoionized N plasma and comparisons with theoretical model・12分 Wang, Fei-Lu (大阪大学)
10:47	総合討論・18分		
サブセッション1：実験室宇宙物理			
11:05	A129a 高強度レーザーでプラズマ宇宙に迫る・25分 高部英明 (大阪大学)	9月28日(金) 午前・B会場 サブセッション3：ジェット・相対論プラズマ	
9月27日(木) 午後・B会場 サブセッション1：実験室宇宙物理(続き)		09:30	A139a 多波長観測から探るジェットの加速、輸送、組成について・13分 片岡 淳 (東京工業大学)
13:30	A130a 磁気リコネクション室内実験の進展ー宇宙から核融合までー・18分 小野 靖 (東京大学)	09:43	A140a 相対論的プラズマにおけるいくつかの粒子加速機構・13分 松清修一 (九州大学)
13:48	A131a 磁気リコネクション室内実験における二流体効果・15分 井 通暁 (大阪大学)	09:56	A141a ブラックホール磁気圏におけるプラズマ・ダイナミクスとジェット・13分 小出眞路 (熊本大学)
14:03	A132a 大型レーザーを用いた宇宙物理実験ージェットと衝撃波の生成ー・15分 坂和洋一 (大阪大学)	10:09	A142a 活動銀河核ジェットとガンマ線バーストからの高エネルギー放射・20分 田代 信 (埼玉大学)
14:18	A133a 実験室プラズマ中の高強度レーザーによる無衝突衝撃波の生成と粒子加速・12分 蔵満康浩 (大阪大学)	10:29	A143a 相対論的銀河ジェットのVSOPによる観測・20分 平林 久 (宇宙航空研究開発機構)

A2. プラズマ宇宙物理

10:49	A144a	相対論的衝撃波での輻射場による宇宙線加速・20分 星野真弘 (東京大学)	9月26日(水) 午前・I会場 サブセッション5:乱流・ダイナモ・リコネクション
11:09	A145a	電波銀河 Cygnus A の電波ローブからの逆コンプトンX線の検出・13分 矢治裕一 (埼玉大学)	10:00 A201r 「ひので」による新しい磁氣的太陽像・20分 常田佐久 (国立天文台)
11:22	A146a	残光の偏光観測からガンマ線バーストの γ 線放射効率問題に迫る・13分 当真賢二 (京都大学)	10:20 A202a 帯状流とダイナモに関するプラズマ研究・15分 藤澤彰英 (核融合科学研究所)
9月28日(金) 午後・B会場 サブセッション3:ジェット・相対論プラズマ(続き)			10:35 A203a 地磁気と地球ダイナモ:他の天体との比較・15分 櫻庭 中 (東京大学)
13:30	A147a	matter-field 結合の変分原理, 共変形式, 非正準 Hamilton 形式・13分 吉田善章 (東京大学)	10:50 A204a インヤン格子による高解像度地球ダイナモシミュレーション・12分 陰山 聡 (海洋研究開発機構)
13:43	A148a	トロイダル磁場を持つ相対論的に膨張する磁気ループの自己相似解・13分 高橋博之 (千葉大学)	11:02 A205a 低 Ekman 数領域における地球ダイナモシミュレーション:対流と磁場の構造について・12分 宮腰剛広 (海洋研究開発機構)
13:56	A149a	銀河団スケールにおける活動銀河ジェットの大局構造・13分 中村雅徳 (LANL)	11:14 A206a 「ひので」に関連する太陽の磁場活動について・15分 柴田一成 (京都大学)
14:09	A150a	Stability of Magnetized Spine-Sheath Relativistic Jets・13分 水野陽介 (NSSTC/NASA-MSFC)	11:29 A207a Formation of Sweet-Parker-like electron dissipation region in a driven open system・12分 Li Bin (総合研究大学院大学)
14:22	A151a	パルサー磁気圏モデルの数値的構築・13分 小嶋康史 (広島大学)	11:41 A208a 3次元開放系における無衝突駆動リコネクションのシミュレーション研究・12分 堀内利得 (核融合科学研究所)
14:35	A152a	相対論的磁気リコネクションのエネルギー変換メカニズム・13分 渡邊直之 (東京大学)	11:53 A209a 磁氣的日震学の急進展・12分 関井 隆 (国立天文台)
14:48	A153a	相対論的 Alfvén 波の崩壊不安定に伴う大振幅電場の形成・13分 吉武 良 (東京大学)	12:05 A210b 磁気回転不安定性と交換型不安定性に関する局所安定条件の統合・3分 古川 勝 (東京大学)
			12:08 A211b ヘリオトロンプラズマの非線型 MHD 解析・3分 市口勝治 (核融合科学研究所)
			12:11 A212b 流れのあるトカマクプラズマ中での外部揺動による磁気島の形成・3分 石井康友 (日本原子力研究開発機構)

12:14	A213b 太陽風セクター境界におけるリコネクション：衛星多点観測・3分 寺沢敏夫（東京工業大学）	16:08	A224a 星形成研究における磁場について・12分 富阪幸治（国立天文台）
12:17	A214b 「ひので」で見る自己相似リコネクション・3分 新田伸也（国立天文台 / 東京工業大学 / 電気通信大学）	16:20	総合討論・10分
9月26日（水）午後・1会場 サブセッション5：乱流・ダイナモ・リコネクション（続き）		9月27日（木）午前・1会場 サブセッション6：プラズマシミュレーション技法	
14:00	A215a 乱れと流れによる磁場・構造形成・16分 横井喜充（東京大学）	09:30	A225r シミュレーション科学としてのプラズマ宇宙物理・12分 草野完也（海洋研究開発機構）
14:16	A216a 銀河磁場：中心・円盤・ハローの磁場構造と磁気流体活動・20分 祖父江義明（東京大学名誉教授）	09:42	A226a 粒子・流体連結手法を用いた運動論的電磁プラズマシミュレーションモデルの構築・20分 藤堂 泰（核融合科学研究所）
14:36	A217a 初期宇宙プラズマのゆらぎと磁場生成・12分 高橋慶太郎（京都大学）	10:02	A227a 粗視化投影法による多階層プラズマシミュレーション・12分 石黒静児（核融合科学研究所）
14:48	A218a 熱的不安定が駆動する星間乱流と磁気雲の形成機構・12分 井上剛志（京都大学）	10:14	A228a 多圏複合系磁気嵐モデルの構築に向けて・20分 海老原祐輔（名古屋大学）
15:00	A219a ダイナモにおけるアルファ効果の非局所性と時間遅れ・12分 吉田茂生（名古屋大学）	10:34	A229a MHD 衝撃波捕獲法のロバスト性について・20分 三好隆博（広島大学）
15:12	A220a 高温で希薄な宇宙磁化プラズマと長距離相互作用・20分 牧島一夫（東京大学）	10:54	A230a 無振動・保存型スキームを用いた新しいMHDシミュレーションコード・12分 田中 伸（名古屋大学）
15:32	A221a 背景中性粒子の流れと相互作用する渦・12分 田中雅慶（九州大学）	11:06	A231a 有理関数 CIP 法を用いた磁場のソレノイダル性を保証する MHD コードの開発と水星磁気圏への応用・12分 八木 学（名古屋大学）
15:44	A222a 磁気エネルギー解放を伴う降着円盤の準周期振動・12分 町田真美（国立天文台）	11:18	A232a MHD 衝撃波のカーバンクル不安定とその回避法・12分 花輪知幸（千葉大学）
15:56	A223a 地球磁気圏における磁気回転不安定性・12分 松本洋介（名古屋大学）	11:30	A233a 相対論的流体の数値解法の改良：法線成分と接線成分の分離・12分 水田 晃（千葉大学）

<p>9月27日(木) 午後・I会場 サブセッション6：プラズマシミュレーション技法(続き)</p>		10:02	A244a	SGR 巨大フレアによる地球電離層擾乱と VLF 電波伝搬異常・12分 田中康之(東京大学)
13:30	A234a			天文学における AMR (適合細分化格子) の最近の動向と実際・20分 松本倫明(法政大学)
13:50	A235a			Full particle plasma simulations using the adaptively refined meshes・12分 藤本桂三(University of Alberta)
14:02	A236a			高精度数値補間法とブラソフコード・12分 梅田隆行(名古屋大学)
<p>サブセッション7：ダスト・電離非平衡プラズマ</p>				
14:14	A237r			The role of interstellar dusts to form structures in the Universe・15分 釜谷秀幸(防衛大学校)
14:29	A238a			電離非平衡プラズマ中高速ダスト流の生成と渦形成ダイナミクス・20分 飯塚 哲(東北大学)
14:49	A239a			衝突爆発反応による炭素クラスターの合成・15分 三重野 哲(静岡大学)
15:04	A240a			レーザー冷却によるクーロン結晶の生成と2次元レーザー誘起蛍光計測・12分 荒巻光利(名古屋大学)
15:16	A241a			極低温環境下におけるダスト微粒子群の拡散過程・12分 関根 航(横浜国立大学)
<p>9月28日(金) 午前・I会場 サブセッション7：ダスト・電離非平衡プラズマ(続き)</p>				
09:30	A242a			実験室酸素窒素プラズマの電子エネルギー・振動励起の非平衡性・20分 赤塚 洋(東京工業大学)
09:50	A243a			プラズマ粒子手法を用いた雷放電初期過程に関する研究・12分 平木康隆(京都大学)
		10:14	A245a	プラズマ偏光X線分光診断法のための電子衝突磁気副準位別励起断面積・12分 甲斐健師(大阪大学)
		10:26	A246a	高強度レーザー生成プラズマ中の非平衡非等方K殻放射・15分 河村 徹(東京工業大学)
		<p>サブセッション8：輻射輸送・電磁放射</p>		
		10:41	A247a	地球・木星磁気圏でのホイッスラーモード・コーラス放射と電子加速・15分 加藤雄人(東北大学)
		10:56	A248a	磁気流体降着円盤とジェットの輻射輸送計算・12分 加藤成晃(筑波大学)
		11:08	A249a	輻射輸送・輻射流体計算によるブラックホールの形成・進化論の進展・20分 大須賀 健(理化学研究所)
		<p>9月28日(金) 午後・I会場 サブセッション8：輻射輸送・電磁放射(続き)</p>		
		13:30	A250a	大質量星紫外光によるフィードバック過程・15分 細川隆史(国立天文台)
		13:45	A251a	電子ビーム起源のラングミュア乱流からの放射過程・15分 安藤利得(金沢大学)
		14:00	A252a	超新星爆発における多次元モンテカルロ輻射輸送・12分 田中雅臣(東京大学)
		14:12	A253a	輻射圧優勢降着円盤の安定性について・12分 廣瀬重信(海洋研究開発機構)
		14:24	A254a	プラズマ波動のジオスペース応用・20分 大村善治(京都大学)

B. 高密度多波長観測と理論による銀河系の包括的研究

9月26日(水) 午前・A会場		9月26日(水) 午後・A会場	
10:00	B01r 高精度観測時代を迎えた銀河系研究・6分 本間希樹(国立天文台)	11:38	B12r 銀河系中心部の若い星の起源: 銀河中心部における星団の進化・11分 牧野淳一郎(国立天文台)
10:06	B02a 銀河系の中心は過去本当に明るかったか・17分 小山勝二(京都大学)	11:49	B13a 多重棒状構造による銀河系中心へのガス供給と付随して起こる星形成・11分 行方大輔(北海道大学)
10:23	B03a 「すざく」による銀河中心領域の超新星残骸候補 G359.79 - 0.26 の観測・11分 森 英之(京都大学)	9月26日(水) 午後・A会場	
10:34	B04a すざく衛星による Sgr D 領域の観測・11分 澤田真理(京都大学)	14:00	B14a 銀河系中心方向のレッドクランプ星と星間減光則・17分 長田哲也(京都大学)
10:45	B05a 銀河中心拡散 X 線の鉄輝線プロフィール・11分 信川正順(京都大学)	14:17	B15r 分子雲をプローブとする高エネルギー現象の追究・17分 福井康雄(名古屋大学)
10:56	B06b 銀河中心 6.7 keV 輝線と点状 X 線源の空間分布の比較・3分 兵藤義明(京都大学)	14:34	B16a 銀河中心分子雲ループ領域の連続波観測・11分 藤沢健太(山口大学)
10:59	B07b 分子雲 Sgr B2 周辺領域における新たな X 線反射星雲候補の発見・3分 乾 達也(京都大学)	14:45	B17a 60cm サーベイ望遠鏡による CO(2-1) 輝線銀河系大規模サーベイ計画・11分 半田利弘(東京大学)
11:02	B08a 銀河系中心 Central Molecular Zone 内の高速度コンパクト雲・11分 岡 朋治(東京大学)	14:56	B18b 60cm サーベイ望遠鏡による CO(2-1) 輝線観測 I - 近傍分子雲サーベイ・3分 中島 拓(大阪府立大学)
11:13	B09a 銀河系中心領域の近赤外線偏光観測・11分 西山正吾(国立天文台)	14:59	B19b 60cm サーベイ望遠鏡による CO(2-1) 輝線観測 II - 北天銀河面マッピング・3分 依田崇弘(東京大学)
11:24	B10b 近赤外線変光星観測による銀河系構造の研究・3分 松永典之(京都大学)	15:02	B20b NRO/CSO/ASTE Galactic Plane CO Survey II. l=42° Region・3分 澤田剛士(国立天文台)
11:27	B11a 銀河系バルジの重力場を解き明かす JASMINE 計画・11分 郷田直輝(国立天文台)	15:05	B21a 南極 30cm 望遠鏡による 500GHz 帯の銀河面サーベイ計画・11分 瀬田益道(筑波大学)

15:16	B22a 銀河系最外縁の星生成・11分 小林尚人 (東京大学)	10:20	B33a 次世代 μ as アストロメトリによる、 銀河ポテンシャルの測定・11分 住 貴宏 (名古屋大学)
15:27	B23a 銀河面上の暗い X 線点源の近赤外線 による同定および分光観測・11分 海老沢 研 (宇宙航空研究開発機構)	10:31	B34a 星の高精度位置測定による銀河の力 学構造の構築・11分 矢野太平 (国立天文台)
15:38	B24b 銀河面上の暗い X 線点源の「すばる」 MOIRCS による同定及び分光観測・ 3分 鈴木健介 (東京大学)	10:42	B35b Nano-JASMINE 計画 - 超小型衛星 によるミリ秒角位置天文サーベイ - 3分 菅沼正洋 (国立天文台)
15:41	B25a 宇宙ガンマ線衛星 GLAST で見る銀 河系の高エネルギー現象・11分 水野恒史 (広島大学)	10:45	B36a 矮小銀河で探る銀河系の形成と進化・ 17分 有本信雄 (国立天文台)
15:52	B26a VERA による高精度位置計測で探る 銀河系・17分 本間希樹 (国立天文台)	11:02	B37a るくぶんぎ座矮小楕円体銀河におけ る星形成史と恒星の種族構造・11分 岡本桜子 (東京大学)
16:09	B27a 赤色超巨星 S Per の年周視差と固有 運動の測定・11分 朝木義晴 (宇宙航空研究開発機構)	11:13	B38a CDM 宇宙における矮小銀河の化学 組成比・11分 長島雅裕 (長崎大学)
16:20	B28a 銀河内サーベイ観測を行う高精度位 置天文に期待するサイエンス・11分 浅田秀樹 (弘前大学)		B39c 星形成領域 W44 (G34.3+0.2) に付 随する水メーザー源に対する VERA アストロメトリ 今井 裕 (鹿児島大学)
9月27日(木) 午前・A会場			B40c 化学組成に刻まれた銀河系バルジか らの巨大アウトフローの痕跡 辻本拓司 (国立天文台)
09:30	B29r 天の川銀河の形成、進化、構造、将来・ 17分 吉田直紀 (名古屋大学)	11:24	議論・6分
09:47	B30a 2007年度の天の川創成プロジェクト・ 11分 斎藤貴之 (国立天文台)		
09:58	B31a 銀河衝撃波の正体・11分 和田桂一 (国立天文台)		
10:09	B32a SDSS による銀河系ハローの大局構造・ 11分 千葉証司 (東北大学)		

C. 第一世代天体の形成

9月27日(木) 午後・A会場		9月28日(金) 午前・A会場	
13:30	C01a 初代天体形成理論・21分 梅村雅之(筑波大学)	09:30	C10a 宇宙初期における超新星爆発・21分 野本憲一(東京大学)
13:51	C02a FIRSTによる第一世代星形成の超高分解能シミュレーション・11分 諏訪多聞(筑波大学)	09:51	C11a 第一世代候補星の組成パターン解釈とその起源・11分 西村高德(北海道大学)
14:02	C03a 宇宙赤外線背景放射の広視野2次元ゆらぎ解析・11分 津村耕司(東京大学/宇宙航空研究開発機構)	10:02	C12a 種族III超新星における元素合成と金属欠乏星・11分 冨永望(東京大学)
14:13	C04a ライマン α 輝線銀河から探る宇宙再電離・11分 柏川伸成(国立天文台)	10:13	C13a 亜鉛過剰な超金属欠乏星は極超新星によるものか?・11分 本田敏志(県立ぐんま天文台)
14:24	C05a 近傍初代星の輻射フィードバックによる第二世代星質量への影響・11分 須佐元(甲南大学)	10:24	C14a 低金属量星の形成・11分 大向一行(国立天文台)
14:35	C06a 系内金属欠乏星観測の進展・21分 青木和光(国立天文台)	10:35	C15a 種族III超新星残骸中のダストの進化と次世代星の元素組成への影響・11分 野沢貴也(北海道大学)
14:56	C07a データベースを用いた金属欠乏星の性質(2)・11分 須田拓馬(北海道大学)	10:46	C16a 低金属環境下での超新星シェルの進化・11分 長倉隆徳(東京大学)
15:07	C08a コールドrプロセスと第一世代星の年齢・11分 和南城伸也(東京大学)	10:57	C17a 第一世代星の超新星爆発による誘発的星形成・11分 佐久間優(筑波大学)
15:18	C09a 超金属欠乏星から探る銀河系形成と初代星の影響・11分 小宮悠(東北大学)	11:08	C18a 第一世代天体における放射性フィードバックの宇宙論的計算・11分 佐藤大介(筑波大学)
		11:19	C19a 第一世代連星における最初の降着円盤・11分 竹内駿(大阪教育大学)

J. 高密度星

9月28日(金) 午後・A会場		27日(木) 午前・E会場	
13:30	C20a 第一世代星の元素合成を銀河系ハローの化学進化に見る・11分 石丸友里(工学院大学)	09:30	J01a 「すざく」搭載 WAM による GRB070508 プロンプト放射のスペクトル時間変動解析 上原岳士(広島大学)
13:41	C21a 矮小銀河の超金属欠乏星の観測・11分 定金晃三(大阪教育大学)	09:42	J02a 「すざく」衛星搭載 広帯域全天モニター WAM による GRB 070125 の観測 恩田香織(埼玉大学)
13:52	C22a 超金属欠乏星による Near-Field Cosmology の可能性について・11分 藤本正行(北海道大学)	09:54	J03a HETE-2 observation of GRB060115 Vasquez Pazmino, Nicolas (東京工業大学)
14:03	C23a ガンマ線バーストを用いた高赤方偏移宇宙の金属量測定 - Subaru から EDGE へ・11分 河合誠之(東京工業大学)	10:06	J04a HETE-2 衛星による GRB041006 の観測 - 時間変動の小さいソフト X 線成分の検出 - 白崎裕治(国立天文台)
14:14	C24a 初期宇宙での γ 線バースト発生率・11分 村上敏夫(金沢大学)	10:18	J05a Swift 衛星で観測された早期 X 線残光の特徴 佐藤理江(宇宙航空研究開発機構)
14:25	C25a 第一世代天体形成の宇宙論的シミュレーション・11分 吉田直紀(名古屋大学)	10:30	J06b GRB のプロンプト放射におけるスペクトルカットオフの検出 田邊幸子(金沢大学)
14:36	C26a Accretion により質量が増加する巨大質量星の進化・11分 大久保琢也(東京大学)	10:30	J07b ブラックホール降着円盤の輻射磁気流体シミュレーション 小田 寛(千葉大学)
14:47	C27a 第一世代星の重力崩壊と重力波、ニュートリノ放射・11分 諏訪雄大(東京大学)	10:30	J08b 相対論的ジェットの輻射特性 秋月千鶴(筑波大学)
14:58	C28a 中間帯域フィルターを用いた $z \sim 3-5$ 原始銀河候補天体の探査・11分 斎藤智樹(愛媛大学)	10:42	J09a ガンマ線バーストの放射機構: 電子陽電子光球の不安定性 井岡邦仁(京都大学)
15:09	C29a Subaru Search for Massive Population III Stars in High-z Universe・11分 長尾 透(国立天文台)	10:54	J10a 相対論的効果による Large-Scale Jet の X 線、電波オフセット Kim Myonggwon(大阪大学)
15:20	サマリー 総合討論・10分	11:06	J11a 相対論的変動エディントン因子の輻射輸送計算 小泉貴之(筑波大学)

11:18	J12a	速度“勾配”依存変動エディントン因子 福江 純 (大阪教育大学)	14:06	J23b	新星 V1280 Sco の可視測光観測 溝口小扶里 (大阪教育大学)
11:30	J13b	相対論的平行平板流での相対論的ピーキング効果 福江 純 (大阪教育大学)	14:18	J24b	新たに発見された SU UMa 型矮新星 NSV4838 の可視光モニター観測 安田 樹 (鹿児島大学)
	J14c	HLLD による降着円盤の磁気流体シミュレーションコードの開発 小川崇之 (千葉大学)	14:18	J25b	ER UMa 型矮新星 ER UMa におけるスーパーサイクルの変動 森谷友由希 (京都大学)
	J15c	MH による星風降着流の数値計算 大杉幸督 (神戸大学)	14:18	J26b	矮新星 ASAS 160048-4846.2 の測光観測 2 副島裕一 (京都大学)
9月27日(木) 午後・E会場					
13:30	J16a	激変星の中で最短の連星周期をもつ天体 OT J055718+683226 の観測 植村 誠 (広島大学)	14:30	J27a	矮新星 GW Lib のスーパーアウトバースト極大付近の分光観測 野上大作 (京都大学)
13:42	J17b	近赤外線観測から探る典型的な SU UMa 型矮新星降着円盤の最外縁 植村 誠 (広島大学)	14:42	J28b	ぐんま天文台における GW Lib の分光観測 衣笠健三 (県立ぐんま天文台)
13:42	J18b	特異な矮新星 GK Per の 2007 年アウトバースト 植村 誠 (広島大学)	14:42	J29b	矮新星 GW Lib の増光初期の短時間変動 前原裕之 (京都大学)
13:42	J19b	岡山 MITSuME 望遠鏡による ER UMa 型矮新星の長期同時多色観測 植村 誠 (広島大学)	14:42	J30b	「すざく」により観測されたブラックホール候補天体 XTE J1856+053 の解析 中村聡史 (理化学研究所)
13:54	J20a	古典新星 V2362 Cyg(= Nova Cygni 2006) の再増光期の可視近赤外線観測 新井 彰 (広島大学)	14:54	J31a	マイクロクエイザーの多波長観測キャンペーン 2006 小谷太郎 (東京工業大学)
14:06	J21b	古典新星 V1280 Sco(= Nova Scorpii 2007 No.1) の可視近赤外線観測 新井 彰 (広島大学)	15:06	J32a	NGC 2043 銀河中の超光度 X 線源のスペクトル状態の遷移 磯部直樹 (理化学研究所)
14:06	J22b	V1280 Sco の可視光分光観測 内藤博之 (兵庫県立西はりま天文台公園)	15:18	J33a	「すざく」衛星による白鳥座 X-1 の Low/Hard 状態の観測 高橋弘充 (広島大学)

9月28日(金) 午前・E会場		9月28日(金) 午後・E会場	
09:30	J34a すざく衛星搭載 WAM によるブラックホール連星の軟 γ 線長期地食観測 吉良知恵 (広島大学)	10:42	J44a 強磁場中性子星の平衡形状 木内建太 (早稲田大学)
09:42	J35a 「すざく」による強磁場白色矮星連星 AE Aquarii における非熱的放射の探査 林 多佳由 (首都大学東京)	10:54	J45a X線パルサーにおけるサイクロトロン線の形成 西村 治 (長野高専)
09:54	J36a すざく衛星による Her X-1 サイクロトロン共鳴吸収の観測 榎戸輝揚 (東京大学)	11:06	J46a パルサー磁気圏の構造を解明するためのグローバル三次元粒子シミュレーションによる研究 和田智秀 (山形大学)
10:06	J37a 「すざく」による Her X-1 のサイクロトロン第二共鳴構造とディップ時の吸収構造の解析 上田 剛 (東京大学)	11:18	J47b パルサー磁気圏における Y-point の粒子シミュレーションによる研究 海崎光宏 (山形大学)
10:18	J38b ASCA 衛星と XMM-Newton 衛星、Chandra 衛星の分散分光器を用いた Supersoft Source CAL87 の分光観測 武井 大 (立教大学)	11:18	J48b 高速回転している相対論的な中性子星の r-モードによる光度曲線 沼田和俊 (東北大学)
10:18	J39b 「すざく」による低質量 X線連星 XB1323 - 619 の観測 広津敏尚 (宇宙航空研究開発機構 / 東京工業大学)	11:18	J49b シンクロトロン放射をしている相対論的球対称風のスペクトル 住友那緒子 (大阪教育大学)
10:18	J40b X線連星パルサーにおける降着コラム形成と光度曲線 鷹野重之 (unisel、芝浦工業大学、YPM)	11:30	J50b On Black Hole Mass Estimation from X-ray Spectra of Ultraluminous X-ray Sources Vierdayanti, Kiki (京都大学)
	J41c マグネター候補天体の定常 X線スペクトルの系統的な研究 中川友進 (青山学院大学)	9月28日(金) 午後・E会場	
	J42c 「ぎんが」衛星データアーカイブスによる銀河中心方向に位置するトランジェント天体の発見 山内茂雄 (岩手大学)	13:30	J51a 原始中性子星の g-mode 励起 吉田至順 (東北大学)
10:30	J43a 強磁場中性子星におけるベクトルポテンシャルの多極場展開 沖田太志 (京都大学)	13:42	J52a 低質量 X線連星における質量降着率の時間変動 川畑亮二 (京都大学)
		13:54	J53a ブラックホール降着円盤からの X線放射とその時間変動について 川中宣太 (京都大学)
		14:06	J54a Accretion vs colliding wind models for the gamma-ray binary LS I+61 303 岡崎敦男 (北海学園大学)

K. 超新星爆発

		9月26日(水) 午前・F会場	
14:18	J55a	変形した円盤での共鳴による円盤振動の励起 (II) 加藤正二 (一)	10:00 K01a 重力崩壊型超新星爆発の多次元磁気流体シミュレーション 黒田仰生 (東京大学)
14:30	J56a	荷電粒子のカオスの挙動におけるブラックホール・スピンの効果 高橋真聡 (愛知教育大学)	10:12 K02a 重力崩壊型超新星が放出する ^{56}Ni の最大量と SN2006gy の正体 梅田秀之 (東京大学)
14:42	J57a	重力崩壊コア内部の対流による重力波放出 関口雄一郎 (東京工業大学)	10:24 K03a 超新星ニュートリノと重力崩壊型超新星爆発モデル 川越至桜 (総合研究大学院大学)
14:54	J58a	ブラックホール時空における定在衝撃波の非軸対称不安定性解析 長倉洋樹 (早稲田大学)	10:36 K04a QCD 相転移とニュートリノ輸送を考慮した星の重力崩壊 中里健一郎 (早稲田大学)
			10:48 K05a 重力崩壊型超新星コアで発生する停滞衝撃波の不安定性 岩上わかな (東北大学)
			11:00 K06a 衝撃波加速におけるエネルギー増幅率の分散の効果 青井順一 (京都大学)
			11:12 K07a Ia型超新星 SN2006X・SN2007af の可視光測光分光観測 山中雅之 (大阪教育大学)
			11:24 K08a 超新星残骸 CTB 37A 領域からの熱的 X 線放射とパルサー星雲候補天体の発見 中嶋 大 (大阪大学)
			11:36 K09a Suzaku による超新星残骸 RCW86 北東部の観測 山口弘悦 (京都大学)
			11:48 K10a XMM-Newton 衛星による Puppis A 超新星残骸の観測 II 勝田 哲 (大阪大学)
			12:00 K11b SDSS 超新星サーベイで発見された Ia 型超新星の多様性 小西功記 (東京大学)
			12:00 K12b 白鳥座ループ北東端の衝撃波の構造 勝田 哲 (大阪大学)

L. 太陽系

9月28日(金) 午前・F会場		9月28日(金) 午後・F会場	
10:42	L01a すざく衛星が観測した地球磁気圏からのX線放射 二元和朗(宇宙航空研究開発機構)	13:30	L11a 三体問題における大域不安定時間とリャプノフ時間の相関 谷川清隆(国立天文台)
10:54	L02a かぐや(SELENE)搭載 月レーダサウンダー観測装置 中川広務(東北大学)	13:42	L12a ケプラー方程式が不要な軌道要素変化法 福島登志夫(国立天文台)
11:06	L03b 暦象年表の改訂 片山真人(国立天文台)	13:54	L13a ガウス流の普遍的な軌道要素の変化方程式監 数値実験 齋藤信明(総合研究大学院大学)
	L04c 地球の慣性モーメントの変化とそれに伴う地球回転変動 眞崎良光(国土地理院)	14:06	L14a 多様体補正法による人工衛星の高精度、高速数値積分 梅谷真史(総合研究大学院大学)
	L05c 火星における表層質量荷重による真の極移動:極潮汐を媒介とする惑星回転と惑星変形の相互作用 原田雄司(東京大学)	14:18	L15a TNOsの軌道進化における自己重力の影響 塚本裕介(東京大学)
	L06c はやぶさ2探査対象小惑星1999JU3のライトカーブ観測キャンペーン 安部正真(宇宙航空研究開発機構)	14:30	L16a UV光によるH ₂ O氷のアモルファス化 高遠徳尚(国立天文台)
11:06	L07b 高黄緯領域における微小小惑星サーベイ 伊藤洋一(神戸大学)	14:42	L17a 彗星の酸素禁制線強度比に基づくCO ₂ /H ₂ O比の推定(2) 古荘玲子(早稲田大学)
11:06	L08b 73P/Schwassmann-Wachmann 3 彗星の可視低分散分光観測 勘田裕一(大阪教育大学)	14:54	L18a 彗星探査天体のダスト環境 石黒正晃(ソウル大学校)
11:18	L09b SWAN彗星(C/2006 M4)の尾の多色撮像 渡部潤一(国立天文台)	15:06	L19a 2004年と2005年における2地点で自動TV流星同時観測 上田昌良(日本流星研究会)
11:18	L10b プロレート宇宙塵の形成 土居政雄(筑波大学/東京工業大学)		

M. 太陽

9月27日(木) 午前・C会場		9月27日(木) 午後・C会場	
09:30	M01a The properties of the Ca II/G-band bright points around the penumbra 下条圭美 (国立天文台)	11:18	M12b 非線形 Force-Free 磁場求解法による sigmoid 構造の再構築 井上 諭 (名古屋大学)
09:42	M02a 「ひので」可視光望遠鏡による G バンド輝点の CN・Ca/H・連続光での明るさについて 川上新吾 (文部科学省)		M13c RHESSI を用いた硬 X 線 loop top 光源運動の観測 宮腰 純 (総合研究大学院大学)
09:54	M03a 「ひので」可視光磁場望遠鏡による黒点振動の観測 長島 薫 (総合研究大学院大学)	13:30	M14a An investigation into the initiation mechanism of a solar flare based on the observations of photospheric magnetic fields by Hinode 真柄哲也 (国立天文台)
10:06	M04a Hinode/SOT による黒点微細構造の観測 北井礼三郎 (京都大学)	13:42	M15a ひので可視光望遠鏡による白色光フレアの観測 磯部洋明 (東京大学)
10:18	M05a ポアの構造と進化 森永修司 (東京大学)	13:54	M16a ひので EIS による長寿命フレアの極端紫外線分光観測 原 弘久 (国立天文台)
10:30	M06a ひので可視光望遠鏡による細い磁束管形成過程の解明 永田伸一 (京都大学)	14:06	M17a ベリリウム様鉄イオン輝線 Fe ^{XXIII} 263.8 Å で見るフレアループの微細構造 渡邊鉄哉 (国立天文台)
10:42	M07a ひので / 可視光望遠鏡による小規模浮上磁場領域の観測 大辻賢一 (京都大学)	14:18	M18a Plage で観測されたアップフローの 1次元モデルを用いた考察 今田晋亮 (国立天文台)
10:54	M08a 浮上磁場の三次元 MHD 計算モデルとひのでの浮上磁場領域の観測の比較 野澤 恵 (茨城大学)	14:30	M19a 2006年12月13日の X3.4 イベントにおける粒子加速 柴崎清登 (国立天文台)
11:06	M09b 「ひので」SOT-XRT 画像間コアライメント (2006年11月~2007年4月) 評価結果 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)	14:42	M20a 太陽フレアにおける非熱的電波放射の空間分布 簗島 敬 (東京大学)
11:06	M10b 乗鞍偏光観測装置による彩層多波長観測 山本哲也 (国立天文台)	14:54	M21a 「ひので」磁場観測に基づくデータ駆動型 MHD シミュレーションの試み 草野完也 (海洋研究開発機構)
11:06	M11b 浮上磁場に伴う光球磁束管形成の MHD シミュレーション 高橋邦生 (国立天文台)		

15:06	M22a 「ひので」磁場観測に基づく活動領域 NOAA10930 の 3 次元磁場構造解析 井上 諭 (名古屋大学)	11:18	M33a 「ひので」による太陽の極域磁場構造の観測 常田佐久 (国立天文台)
15:18	M23a コロナ質量放出発生過程の 3 次元電磁流体シミュレーション 塩田大幸 (国立天文台)	9 月 28 日 (金) 午後・C 会場	
9 月 28 日 (金) 午前・C 会場		13:30	M34a 「ひので」で探る活動領域プロミネンスの 3 次元磁場構造 岡本文典 (京都大学 / 国立天文台)
09:30	M24a ループ状マイクロフレア：X 線増光と足元における光球磁場・彩層応答 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)	13:42	M35a Magnetic Structure of a dark filament observed by Hinode SOT/SP 横山央明 (東京大学)
09:42	M25a 「ひので」で見た X 線輝点の磁場構造と時間変化 古徳純一 (国立天文台)	13:54	M36a フィラメント形成と光球磁場キャンセレーションとの同時発生 of 統計的研究 飯田佑輔 (東京大学)
09:54	M26a 飛騨天文台における HINODE 衛星との協同観測の初期報告 上野 悟 (京都大学)	14:06	M37a Hot and Cool Loops Composing Corona of the Quiet Sun 松崎恵一 (岐阜大学)
10:06	M27a ひので衛星可視光望遠鏡と飛騨天文台ドームレス望遠鏡によるエラーマンボムの観測 松本琢磨 (京都大学)	14:18	M38a 太陽全面のコロナ温度分布について 成影典之 (宇宙航空研究開発機構)
10:18	M28a ひので SOT により発見された Ca アネモネジェットの統計解析 中村太平 (京都大学)	14:30	M39a 静穏コロナ上空の温度構造 鹿野良平 (国立天文台)
10:30	M29a 2007 年 2 月 9 日のひので衛星巨大 Ca ジェットと浮上磁場モデルによる MHD ジェットとの比較 西塚直人 (京都大学)	14:42	M40a ひので X 線望遠鏡によるコロナ中のプラズマフローの観測 坂尾太郎 (宇宙航空研究開発機構)
10:42	M30a 黒点半暗部彩層で頻発するジェット状活動現象の詳細解析 勝川行雄 (国立天文台)		
10:54	M31a 半暗部フィラメントの振れ様運動 一本 潔 (国立天文台)		
11:06	M32a 「ひので」で捉えられた頻発性水平磁場とその起源 石川遼子 (東京大学 / 国立天文台)		

N. 恒星

9月26日(水) 午前・D会場			
10:00	N01a VERAによる半規則変光星 S Crt の年周視差計測 中川重紀治 (鹿児島大学)	11:36	N12b すざく衛星による早期 A 型星 HD 161084 からの X 線フレアの検出 三浦洵一郎 (中央大学)
10:12	N02a VERAによる超巨星 VY CMa の H ₂ O/SiO メーザー観測 II Choi, Yoonkyung (東京大学)	11:36	N13b XMM-Newton 衛星による WR141 の X 線観測 菅原泰晴 (中央大学)
10:24	N03a 新しく見つかった2つの「宇宙の噴水」 今井 裕 (鹿児島大学)	11:36	N14b すばる HDS データによる振動アルゴル系 AS Eri の化学組成解析 鳴沢真也 (兵庫県立西はりま天文台)
10:36	N04b VERAによるミラ型変光星 R UMa に付随する水メーザーの年周視差計測 松井 真 (鹿児島大学)	11:48	N15b W UMa 型接触連星系 UY UMa の測光解析 加藤 篤 (福島大学)
10:36	N05b IRAS 天体から選出した AGB 星の近赤外線観測 荒尾考洋 (鹿児島大学)	11:48	N16b OAO/ISLE を用いた矮新星の近赤外測光観測 棚田俊介 (鹿児島大学)
10:36	N06b 赤外線天文衛星「あかり」による球状星団観測 三戸洋之 (東京大学)	11:48	N17b Data Exploration and Analysis Software for Deep, Large Area Photometric Surveys Koerwer, Joel (名古屋大学)
	N07c Narrow CO Emission from a Symbiotic Star, RX Puppis 浮田信治 (国立天文台)	9月26日(水) 午後・D会場	
10:48	N08a 高分解能 FTS スペクトルの定量解析 II: RGB 及び AGB 星における炭素及び酸素組成 辻 隆 (東京大学)	14:00	N18a Global disk oscillations in binary Be stars Oktariani, Finny (北海道大学)
11:00	N09a 炭素星の元素組成について - J 型炭素星の可視光域分光解析 平井正則 (-)	14:12	N19a 磁気特異星における元素の垂直分布 加藤賢一 (大阪市立科学館)
11:12	N10a ミラ型変光星の中間赤外線スペクトルモニター観測: IRAS04544-6849・HV2446 上塚貴史 (東京大学)	14:24	N20a 2006/2007 Procyon Big Campaign: 岡山での観測と視線速度解析 神戸栄治 (国立天文台)
11:24	N11a 高感度 / 高分散分光スペクトルに基づくハロー惑星状星雲の元素組成解析 大塚雅昭 (国立天文台)	14:36	N21a 特異新星 V838 Monocerotis の赤外線偏光観測 福士比奈子 (東京大学)
		14:48	N22a 惑星を持つ星の軽元素の振る舞い: C, O, Na, Al の解析 比田井昌英 (東海大学)

P. 星・惑星形成

9月26日(水) 午後・D会場			
15:00	P01a プレアデスに属する若い恒星の金属量 船山日斗志 (神戸大学)	10:18	P12a Monoceros R2 における近赤外三色同時広域偏光観測 日下部展彦 (総合研究大学院大学)
15:12	P02a 低金属量下における dust disk の形成 安井千香子 (東京大学)	10:30	P13a NGC6334 の赤外偏光観測: 大質量星に付随する反射星雲の進化 橋本 淳 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)
15:24	P03a Long-Term Variability of Spectropolarimetric Properties in AB Aurigae Jearnkulprasert Ngarmjit (東北大学)	10:42	P14b X線帯域における小、中、大質量原始星の統計的調査 鈴木悠一郎 (中央大学)
15:36	P04a 星形成領域 GGD12-15 における近赤外線広域偏光観測 佐藤八重子 (総合研究大学院大学)	10:42	P15b HII 領域 W5-East に付随する H α 輝線星と星形成 仲野 誠 (大分大学)
15:48	P05a 星なしコア Barnard 68 の近赤外偏光観測: 磁場構造の測定 神鳥 亮 (国立天文台)	10:42	P16b W4 HII 領域のミリ波サーベイ観測 丹羽隆裕 (神戸大学)
16:00	P06a Near-infrared imaging polarimetry of the silhouette young stellar object M17-SO1 藤吉拓哉 (国立天文台)	10:54	P17b メタノールメーザーを伴う若い大質量星周囲のガスの構造 梅本智文 (国立天文台)
16:12	P07a 原始球状星団雲に於ける星形成領域サイズと星団形成機構 釜谷秀幸 (防衛大学校)	10:54	P18b 大質量星への質量降着条件: 輻射圧障壁の再考 2 中本泰史 (東京工業大学)
9月27日(木) 午前・D会場		10:54	P19b XMM-Newton 衛星による Taurus 領域の YSO サーベイ 梶田 悠 (中央大学)
09:30	P08a あかり 星形成 Mission Program AFSAS の現状 上野宗孝 (東京大学)	11:06	P20b 星形成領域 NGC1333 の近赤外 L バンド測光観測 田中宗親 (神戸大学)
09:42	P09a 「あかり」衛星による大マゼラン雲サーベイの初期解析結果~銀河系外 YSO 近赤外スペクトル探査の試み~ 下西 隆 (東京大学)	11:06	P21b はえ座分子雲における星形成の探査 宮本 泉 (神戸大学)
09:54	P10a Infrared dark cloud に付随する大質量クランプに対する分子輝線サーベイ 酒井 剛 (国立天文台)	11:06	P22b NGC1333 に存在する超低質量天体 大朝由美子 (神戸大学)
10:06	P11a ASTE による南天大質量星形成領域の大型有機分子探査 II 亀谷和久 (東京大学)	11:18	P23b 全天の測光アーカイブデータを用いた褐色矮星探査 葉山優希子 (神戸大学)
		11:18	P24b 高分散分光観測による前主系列星の表面重力測定法の確立 高木悠平 (神戸大学)

11:18	P25b 原始惑星落下問題における円盤内ポロイダル磁場の効果－数値計算と線型解析の比較－ 武藤恭之 (京都大学)	9月28日(金) 午前・D会場	
9月27日(木) 午後・D会場		09:30	P35b 原始褐色矮星 DH Tau B の星周円盤 伊藤洋一 (神戸大学)
13:30	P26a 星団形成領域 W3 MAIN における高密度クランプの物理状態の解明 齋藤弘雄 (国立天文台)	09:30	P36b Tタウリ型連星 XZ Tauri の近赤外コロナグラフ観測 日置智紀 (神戸大学)
13:42	P27a VERA による IRAS06058+2138 の水メーザー観測 Oh Chungsik (東京大学)	09:30	P37b 磁気圧駆動ジェットモデルの数値実験 村主崇行 (京都大学)
13:54	P28a VERA による Orion-KL 領域の SiO メーザーの位相補償 VLBI 観測 II Kim Mikyoung (東京大学)	09:42	P38b 双極分子流の化学モデル 野村英子 (Queen's University Belfast)
14:06	P29a Cepheus A – HW2 領域におけるメタノール・水メーザーのマルチライン観測 杉山孝一郎 (山口大学)	09:42	P39b 衝撃波加熱モデルによる複合コンドリュール形成の可能性 保田誠司 (筑波大学/東京工業大学)
14:18	P30a Orion B 分子雲における $H^{13}CO^+$ コアサーベイ I – $H^{13}CO^+$ コアとダストコアの関係 池田紀夫 (宇宙航空研究開発機構)	09:42	P40b 惑星によって形成されたデブリディスク構造の検出の試み 藤原英明 (東京大学)
14:30	P31a L1551 領域における $SO(J_K=1_0-0_1)$ マッピング観測 吉田淳志 (東京工業大学)	09:54	P41b ハッブル/スピッツァー宇宙望遠鏡データによるへびつかい座星形成領域の原始惑星探査 城野ちあき (神戸大学)
14:42	P32a L1551 MC の $C^{18}O(J=1-0)$ 、 $H^{13}CO^+(J=1-0)$ 輝線観測 樋口あや (東京工業大学)	09:54	P42b 木曾シュミット望遠鏡による系外惑星のトランジットサーベイ 石隈慎一郎 (神戸大学)
14:54	P33a 近接連星と遠隔連星の形成シナリオ 町田正博 (京都大学)	09:54	P43b MOA データベースを用いたトランジット系外惑星探索 福井暁彦 (名古屋大学)
15:06	P34a 原始惑星系円盤における磁気回転不安定性の不均一な成長によるガス回転速度分布の変形とダスト集積 加藤真理子 (東京工業大学)		P44c 石垣天文台でのマイクロレンズ事象追尾観測 村木 綏 (甲南大学)
		10:06	P45a 散乱光による星周円盤表面のスノーライン検出の可能性 井上昭雄 (大阪産業大学)
		10:18	P46a Tタウリ型星周りの降着円盤におけるスノーラインの進化 岡 明憲 (東京工業大学)
		10:30	P47a 若い星周円盤中の高温分子の分布 野村英子 (Queen's University Belfast)

Q. 星間現象

		9月26日(水) 午前・C会場				
10:42	P48a	星雲衝撃波の通過に伴う珪酸塩ガストの蒸発と凝縮 三浦 均 (京都大学)	10:00	Q01a	鹿島 34m 電波望遠鏡による NH ₃ 分子輝線観測 東島英志 (鹿児島大学)	
10:54	P49a	原始惑星系円盤のガスト層におけるストリーミング不安定性の数値シミュレーション 石津尚喜 (京都大学)	10:12	Q02a	おうし座分子雲複合体におけるコアの CCS/NH ₃ 輝線強度比と進化段階 保坂啓太 (北海道大学)	
11:06	P50a	「あかり」によるベガ型星の中間・遠赤外線観測 深川美里 (名古屋大学)	10:24	Q03a	VERA による NGC 281 水メーザー年周視差計測とスーパーバブルの運動 佐藤真弓 (東京大学)	
11:18	P51a	赤外線偏光観測と3次元モンテカルロ輻射輸送計算 福江 翼 (京都大学)	10:36	Q04a	オリオン座 A 分子雲 OMC-2/3 の CH ₃ N および CCS 観測 立松健一 (国立天文台)	
		9月28日(金) 午後・D会場				
13:30	P52a	SONY PLAYSTATION3 を用いた重力多体問題計算 富田賢吾 (総合研究大学院大学)	10:48	Q05b	M17 分子雲複合体の NH ₃ 輝線観測 大石晋恵 (北海道大学)	
13:42	P53a	地球型惑星の自転 - 合体条件の効果 小久保英一郎 (国立天文台)		Q06c	W43 領域の NH ₃ 分子輝線観測 西谷洋之 (北海道大学)	
13:54	P54a	ジャンピングジュピターモデルによる短周期惑星形成 長沢真樹子 (東京工業大学)		Q07c	電離水素領域 W51 の 23GHz 帯電波再結合線観測 三輪真一 (北海道大学)	
14:06	P55a	太陽型星 HD17156 におけるエキセントリック・ホットジュピターの発見 佐藤文衛 (東京工業大学)	10:48	Q08b	大学連携 VLBI による IRAS 06061+2151 の H ₂ O メーザーマッピング観測 元木業人 (北海道大学)	
14:18	P56a	ドップラーシフト法による連星系の系外惑星探索 豊田英里 (神戸大学)	10:48	Q09b	銀河系中心領域の近赤外線偏光観測 羽田野裕史 (名古屋大学)	
14:30	P57a	MOA II マイクロレンズ探索: 2007 年の観測 阿部文雄 (名古屋大学)	11:00	Q10a	Spitzer 望遠鏡による大質量星形成領域の中間赤外分光マッピング観測 岡田陽子 (宇宙航空研究開発機構)	
14:42	P58a	MOA-II による重力マイクロレンズを用いた浮遊惑星探索 神谷浩紀 (名古屋大学)	11:12	Q11a	「あかり」衛星搭載 近中間赤外カメラ IRC によるマゼラン雲内の CO 分子雲及び星形成領域の中間赤外スリット分光観測 左近 樹 (東京大学)	
				11:24	Q12a	Extinction Map of the Large Magellanic Cloud Based on 2MASS 土橋一仁 (東京学芸大学)

11:36	Q13a Preliminary Line Survey toward Low-Mass Protostar in L1527 坂井南美 (東京大学)	15:24	Q24a 「すざく」硬 X 線検出器による Tycho 超新星残骸からの非熱的 X 線の観測 早藤麻美 (理化学研究所 / 東京理科大学)
11:48	Q14b Detection of Molecular Anion, C ₆ H ⁻ , toward Low-Mass Protostar L1527 坂井南美 (東京大学)	15:36	Q25a 水素プラズマ反応によるシリケートの変質 木村誠二 (電気通信大学)
11:48	Q15b 惑星間磁気雲中の宇宙線密度分布と異方性 久保勇樹 (情報通信研究機構)	15:48	Q26a PAH のルミネッセンスと Red Rectangle の BL 和田節子 (電気通信大学)
11:48	Q16b DSS を用いた惑星状星雲の AGB ハローの検出 (2) 山口卓也 (和歌山大学)	16:00	Q27a 分子動力学シミュレーションによる炭素ダスト発生機構の研究 伊藤篤史 (名古屋大学)
9月26日(水) 午後・C会場		16:12	Q28b パーカー不安定性によるフィラメント状分子雲の形成 鈴木重太郎 (千葉大学)
14:00	Q17a 銀河系中心領域の NH ₃ (J,K) = (1,1), (2,2), (3,3) 輝線観測 永山 匠 (鹿児島大学)	16:12	Q29b 冷却により動的に進化する衝撃波後面の安定性解析 岩崎一成 (大阪大学)
14:12	Q18a ISO、「あかり」による銀河系中心領域の遠赤外線分光観測 安田晃子 (宇宙航空研究開発機構)		
14:24	Q19a 銀河系中心領域内の高速度コンパクト雲の励起状態 永井 誠 (東京大学)		
14:36	Q20a すざくによる銀河系中心領域からの広がった硬 X 線放射の発見 国分紀秀 (宇宙航空研究開発機構)		
14:48	Q21a 「すざく」による HESS J1837-069 の観測 穴田貴康 (宇宙航空研究開発機構)		
15:00	Q22a 「すざく」による超新星残骸 CTB37B の観測 中村良子 (宇宙航空研究開発機構 / 東京工業大学)		
15:12	Q23a すざく XIS による TychoSNR の観測 上野大輔 (名古屋大学)		

R. 銀河

9月27日(木) 午前・F会場		9月27日(木) 午後・F会場	
09:30	R01a 自己重力無衝突系での局所ビリアル関係 井口 修 (お茶の水女子大学)	10:54	R13b 棒渦巻銀河 NGC 3627 の ¹³ CO(J=1-0) マッピング観測 渡邊祥正 (北海道大学)
09:42	R02a GRAPE-DR ボードの開発状況 牧野淳一郎 (国立天文台)	10:54	R14b Structure and Kinematics of CO (J=2-1) Emission in the Central Region of NGC 4258 澤田 - 佐藤聡子 (山口大学)
09:54	R03a FIRST を用いた球状星団の力学進化の計算 II 長谷川賢二 (筑波大学)	11:06	R15a M33 の広がった球状星団 M33-EC1 の発見 長谷川 隆 (県立ぐんま天文台)
10:06	R04a 矮小銀河における球状星団衝突による銀河核形成 井上茂樹 (東北大学)	11:18	R16a Ring 銀河の近赤外線観測 ~ Bar 構造の検出~ 清水秀幸 (名古屋大学)
10:18	R05a minor merger が巨大ブラックホールの衝突合体に及ぼす影響 松井秀徳 (北海道大学)	9月27日(木) 午後・F会場	
10:30	R06a 非軸対称銀河中での大質量ブラックホール連星の進化 岩澤全規 (東京大学)	13:30	R17a アンテナ銀河における高密度分子ガスのミリ波干渉計観測と星形成活動 田村陽一 (東京大学)
	R07c 銀河中心の大質量ブラックホールによって壊されやすいバーについて 穂積俊輔 (滋賀大学)	13:42	R18a 渦巻銀河におけるパターン速度と星形成時間の決定 III 江草芙実 (東京大学)
	R08c 力学進化から探る球状星団の初期状態 II 高橋広治 (埼玉工業大学)	13:54	R19a 近傍銀河中心部の CO(J=1-0) サーベイ: 銀河形態の関数としての星形成則 II 小麦真也 (東京大学)
10:42	R09b 暗黒物質サブハローと銀河円盤形成の関係 林 寛人 (東北大学)	14:06	R20a 野辺山ミリ波干渉計を用いた radio-loud quasar FIRST J1413+4505 (z=3.1) の CO(4-3) 輝線及び 3 mm 帯連続波の検出 鮫島昌弘 (東京大学)
10:42	R10b 完成した IRSF マゼラン雲近赤外点源カタログ 加藤大輔 (東京大学)	14:18	R21a 「あかり」による Starburst dwarf galaxy NGC1569 の近・中間赤外線観測 松本裕子 (東京大学)
10:42	R11b 「あかり」による超高光度赤外線銀河 IRAS 08572+3915 の分光観測 白旗麻衣 (宇宙航空研究開発機構)	14:30	R22a 「あかり」と Spitzer 衛星による近傍楕円銀河 NGC4589 の星間ダストの観測 金田英宏 (宇宙航空研究開発機構)
10:54	R12b 棒渦巻銀河 M83 における、CO(3-2)/CO(1-0) 比と星形成効率の相関 II 村岡和幸 (東京大学)		

S. 活動銀河核

14:42	R23a E+A 銀河の光度進化 稲見華恵 (総合研究大学院大学)	9月26日(水) 午前・G会場	
14:54	R24a Abundance diagnosis of E+A (post-starburst) galaxies 後藤友嗣 (宇宙航空研究開発機構)	10:00	S01a CSO天体 Mrk 231 の VLBI 定期観測 田村さやか (総合研究大学院大学)
15:06	R25a 楕円銀河の年齢と金属量を SSP で 推定すること於ける問題点 山田善彦 (国立天文台)	10:12	S02a High Frequency Peakers は若い 電波銀河か? 永井 洋 (国立天文台)
15:18	R26a X線光度の異なる楕円銀河周辺の矮 小銀河の分布・形態の可視光観測 戸塚 都 (広島大学)	10:24	S03a 放射冷却を考慮した活動銀河コク ーンの進化 伊藤裕貴 (早稲田大学)
9月28日(金) 午前・F会場		10:36	S04a 電波銀河ジェットのプラズマ組成: ジェットとコクーン力学からのアプ ローチ 紀 基樹 (宇宙航空研究開発機構)
09:30	R27a 銀河中心デシメータ電波パルス・ス ペクトルの確認ー福井工業大学あ わら宇宙電波観測システムの成果 (そ の2) 西阪飛鳥 (福井工業大学)	10:48	S05a 大質量ブラックホールの成長とダ ストトーラスの物理状態 川勝 望 (国立天文台)
09:42	R28a 銀河中心デカメータ波電波パルスと デシメータ波電波パルスの対比によ る電波源モデルーカー・ブラック ホール群起源 (その2) 大家 寛 (福井工業大学)	11:00	S06a Light bending and the hard X-ray background Gandhi, Poshak (RIKEN)
09:54	R29a 一酸化珪素レーザー源 IRS10EE の Sgr A* に対する相対運動について 出口修至 (国立天文台)	11:12	S07a 重力レンズ: 面分光で探るレンズ銀 河の質量分布とクェーサの空間構造 菅井 肇 (京都大学)
10:06	R30a 銀河系中心核周リングへの落下ガス の SiO 輝線高分解能観測 佐藤麻美子 (東京大学/宇宙航空 研究開発機構)	11:24	S08a Polarization alignment breaking 法 における重力レンズ効果の一般的考察 吉田 宏 (福島県立医科大学)
10:18	R31a マイクロレンズ現象 Var Cas 06 の 測光データの再検討 田辺健茲 (岡山理科大学)		S09c Apparent Region of Ergosphere around a Black Hole Shadow 高橋劣太 (東京大学)
10:30	R32a MOA データベースを用いたダーク マターの探索 奥村卓大 (名古屋大学)		S10c 電波トランジェント候補天体の発見 青木貴弘 (早稲田大学)
		11:36	S11b トランジェント電波源 WJN J0417+4051 の解析 田中 泰 (早稲田大学)
			S12c 銀河とブラックホール共進化を探る: 狭輝線 1 型セイファート銀河のバルジ に付随する分子ガスの sub - kpc 観測 川口俊宏 (青山学院大学)

11:36	S13b	活動銀河中心における降着円盤での水素分子による冷却 宮野順子 (熊本大学)	14:24	S23a	「すざく」衛星によるセイファート銀河 NGC2110 の広帯域 X 線スペクトルの詳細観測 深沢泰司 (広島大学)
11:36	S14b	0836+710 ジェットの VLBA 偏波観測 浅田圭一 (宇宙航空研究開発機構)	14:36	S24a	X 線天文衛星「すざく」による 2 型セイファート銀河 NGC2273, NGC3393 の観測 栗木久光 (愛媛大学)
11:48	S15b	活動銀河 NGC 1052 のプラズマトーラス構造とメーザースポットの分布 中村佳代子 (鹿児島大学)	14:48	S25a	「すざく」の広帯域スペクトルを用いた MCG-6-30-15 の X 線短期変動の解析 上原悠一 (東京大学)
11:48	S16b	NGC1052 のプラズマ空間分布を単一周波で探る 並河大地 (鹿児島大学)	15:00	S26a	すざく衛星によるセイファート銀河の時間変動解析その 2 中村智一 (名古屋大学)
11:48	S17b	H α 吸収線を持つ FeLoBAL QSO SDSS J101927.36+022521.4 青木賢太郎 (国立天文台)	15:12	S27a	巨大連星ブラックホール候補天体 OJ 287 の多波長同時観測 瀬田裕美 (埼玉大学)
12:00	S18b	モンテカルロシミュレーションによる AGN スペクトルの推定 池田真也 (愛媛大学)	15:24	S28a	かなた望遠鏡によるブレーザー天体 OJ287 の偏光撮像観測 笹田真人 (広島大学)
12:00	S19b	すざく衛星による活動銀河核 MCG-6-30-15 の広帯域 X 線スペクトル変動解析 宮川雄大 (宇宙航空研究開発機構 / 東京大学)	15:36	S29a	赤外線天文衛星「あかり」による APM08279+5255 の近中間赤外線分光観測 大藪進喜 (宇宙航空研究開発機構)
12:00	S20b	「すざく」衛星による PKS2155-304 の観測 幸村孝由 (工学院大学)	15:48	S30a	MAGNUM プロジェクト：低中光度の近傍セイファート銀河における可視赤外交光遅延 越田進太郎 (東京大学 / 国立天文台)
9月26日 (水) 午後・G会場					
14:00	S21a	PKS 2155-304 の 2006 年 TeV ガンマ線フレアの観測 坂本由起子 (東海大学)	16:00	S31a	O I, Ca II 輝線を用いた AGN Fe II 輝線放射領域の探査 松岡良樹 (東京大学)
14:12	S22a	MeV 領域宇宙ガンマ線背景放射と AGN コロナにおける非熱的電子存在の可能性について 井上芳幸 (京都大学)	16:12	S32a	A Search for Quasars beyond redshift of 5.7 in the Southern Hemisphere 川良公明 (東京大学)

T. 銀河団

9月26日(水) 午前・H会場		
10:00	T01a 銀河団の環境と γ 線の電磁カスケード 浅野勝晃(国立天文台)	11:48 T12a EDGE衛星によるミッシングバリオンの観測計画 山崎典子(宇宙航空研究開発機構)
10:12	T02a 「すざく」によるAbell 3667銀河団からの非熱的放射の探査 中澤知洋(東京大学)	12:00 T13a スニャーエフ・ゼルドビッチ効果によるハッブル定数測定の系統誤差 河原 創(東京大学)
10:24	T03a 「すざく」衛星によるAbell 2199銀河団の観測 川原田 円(理化学研究所)	12:12 T14b 銀河団の暗黒物質とガスの温度分布 渡辺泳樹(東京理科大学)
10:36	T04a すざく衛星によるComa clusterの銀河団ガスの温度構造 佐藤拓也(東京理科大学)	
10:48	T05a すざくによる連銀河団A399/A401の連結領域の観測 藤田 裕(大阪大学)	
11:00	T06a 「すざく」で観測されたIa/II型超新星爆発による銀河間ガスの重元素への寄与 佐藤浩介(東京理科大学)	
11:12	T07b 「すざく」衛星で観測された銀河間ガスの重元素分布 佐藤浩介(東京理科大学)	
11:12	T08b すざく衛星によるNGC5044銀河群の重元素の質量-光度比の決定 小宮山 円(東京理科大学)	
11:12	T09b MHD waveによる銀河団の加熱 藤田 裕(大阪大学)	
11:24	T10a すざく衛星によるPerseus銀河団の鉄輝線共鳴散乱の測定 梅木勇大(広島大学)	
11:36	T11a 「すざく」によるPerseus銀河団高温ガスの大規模スケールのバルク運動の測定 田中琢也(広島大学)	

U. 宇宙論

9月26日(水) 午後・F会場	
14:00	<p>U01a WMAP-3year data による初期スペクトルの再構築 永田 竜 (東京大学)</p> <p>U02c 初期磁場を考慮したCMBゆらぎによるニュートリノ質量の制限 児島和彦 (東京大学)</p>
14:12	<p>U03a 宇宙マイクロ波背景放射の非等方性を用いた、インフレーション起源の背景重力波のもつ円偏極成分の検出法 斎藤 俊 (東京大学)</p>
14:24	<p>U04a 2nd-order Rees-Sciama effect in Lambda-dominated flat universes 井上開輝 (近畿大学)</p>
14:36	<p>U05a 非線形重力ポテンシャルと Rees-Sciama 効果の摂動論的解析 西澤 淳 (名古屋大学)</p>
14:48	<p>U06a 完結近似にもとづく質量密度ゆらぎの非線形重力進化の取り扱い 樽家篤史 (東京大学)</p>
15:00	<p>U07a サブパーセントレベルでの宇宙論的N体計算の信頼性 大室裕史 (東京大学)</p>
15:12	<p>U08a 数値シミュレーションを用いた大規模構造の研究 高橋龍一 (名古屋大学)</p> <p>U09c 銀河速度分散無モデル測定法と速度バイアス 加用一者 (名古屋大学)</p>
15:24	<p>U10a 銀河の N-z 関係と CMB スペクトルによる、振動性膨張率を持つ宇宙モデルの検証 平野耕一 (東京理科大学)</p>
15:36	<p>U11a 重力レンズ統計および Ia 型超新星の観測を用いた時間減衰宇宙項モデルの検証 文屋 宏 (東京理科大学)</p>
15:48	<p>U12a SDSS 重力レンズクエーサー探索: DR3 統計サンプル 稲田直久 (理化学研究所)</p>
16:00	<p>U13a SDSS 重力レンズクエーサー探索: DR3 サンプルからの宇宙論的示唆 大栗真宗 (スタンフォード大学)</p>
16:12	<p>U14b 重力レンズ時間の遅れに対する統計的アプローチとハッブル定数測定への応用 大栗真宗 (スタンフォード大学)</p>
16:12	<p>U15b 重力波による宇宙論的磁場の増幅: 電気導度の影響を含めた考察 黒柳幸子 (名古屋大学)</p>
16:12	<p>U16b High redshift の HII 領域からの 21cm 放射 徳谷 碧 (名古屋大学)</p> <p>U17c On Topos-Based Representation of Collection of Physical Systems 中山薫二 (龍谷大学)</p>
16:24	<p>U18a 宇宙膨張論の検証 (IX 空間膨張宇宙における光の軌跡 (4) ドップラー効果の慣用式の点検) 阿武靖彦 (一)</p>

V. 地上観測機器

9月27日(木) 午前・G会場		9月27日(木) 午後・G会場	
09:30	V01a ALMA の建設 (7) 井口 聖 (国立天文台)	10:54	V12b 冷凍機コンプレッサ室内機用エンクロージャと屋外機用風防の製作 山田真澄 (国立天文台)
09:42	V02a ACA 7mアンテナ用ホログラフィ受信機の開発 山田真澄 (国立天文台)	11:06	V13a ASTE の進捗 - ボロメータカメラ AzTEC による本格的連続波観測の開始 江澤 元 (国立天文台)
09:54	V03a ALMA band8 受信機量産に向けたミクサブブロックの組立と性能評価 伊藤哲也 (国立天文台)	11:18	V14a 学術情報ネットワーク SINET3 と光結合 VLBI 川口則幸 (国立天文台)
10:06	V04a サブミリ波におけるコルゲートホーン及び OMT のビームパターン・交差偏波パターン測定 成瀬雅人 (東京大学)	9月27日(木) 午後・G会場	
10:18	V05a ALMA Band 8 受信機 試作 OMT の開発 神蔵 護 (東京大学)	13:30	V15b 4 - 12 GHz 帯冷却低雑音 HEMT アンプの開発 小嶋崇文 (大阪府立大学)
10:30	V06a ALMA-ACA 用 FX 相関器の開発 III. 最終設計と評価 奥村幸子 (国立天文台)	13:30	V16b 1.85m 電波望遠鏡開発の進捗状況 - 野辺山への移設 - 海田正大 (大阪府立大学)
10:42	V07b ASTE 搭載 350GHz 帯サイドバンド分離型超伝導受信機の開発・性能評価 井上裕文 (東京大学)	13:30	V17b 1.85m 電波望遠鏡の制御系の開発 II 奥野宏文 (大阪府立大学)
10:42	V08b ALMA band10 光学系評価用近傍界測定装置の改良 稲岡和也 (大阪府立大学)	13:42	V18b 1.85m 電波望遠鏡搭載用超伝導受信機の開発 栗本裕敏 (大阪府立大学)
10:42	V09b Lバンド電波望遠鏡と IMT-2000 システム間の周波数共用条件 中島潤一 (情報通信研究機構)	13:42	V19b NANTEN2 プロジェクトの進捗報告 水野範和 (名古屋大学)
10:54	V10b 野辺山における最近の電波環境 9.4GHz 帯での混信対策 北條雅典 (国立天文台)	13:42	V20b 南極 30 cm サブミリ波望遠鏡の開発 宮川直己 (筑波大学)
10:54	V11b ACA アンテナ用電気ケーブル、光ファイバケーブル、およびステンレスフレキシブルホースの屈曲耐久試験 山田真澄 (国立天文台)	13:54	V21b 野辺山偏波強度計アンテナコントロールシステムの Linux 化 篠原徳之 (国立天文台)
		13:54	V22b 45m 電波望遠鏡での彗星・小惑星などの新しい追尾方式 高野秀路 (国立天文台)
		13:54	V23b 水沢 10m 電波望遠鏡の自動運用システムの開発 亀谷 収 (国立天文台)

14:06	V24b 早稲田那須パルサー観測所トランジェント電波源速報システムの構築 新沼浩太郎 (早稲田大学)	15:06	V36a 可視赤外線カメラに用いる近赤外線検出器 VIRGO-2K の性能評価 宮本久嗣 (広島大学)
14:06	V25b 早稲田大学那須パルサー観測所 20m φ 8 素子干渉計の駆動制御システム開発 中村亮介 (早稲田大学)	15:18	V37b 広視野偏光撮像装置 HOWPol の開発：装置の組み上げと制御系の開発 田中祐行 (広島大学)
14:06	V26b 那須 20m 干渉計における位相変動原因の分離 平野 賢 (早稲田大学)	15:18	V38b かなた望遠鏡の観測装置可視赤外線同時撮像カメラの開発状況 松井理紗子 (広島大学)
14:18	V27b 那須観測所における受信機冷却による低雑音化への取り組み 貴田寿美子 (早稲田大学)	15:18	V39b 可視 15 色同時撮像カメラ DMC の光学系調整および光学性能評価 早野淳二 (東京大学)
	V28c ミリ波 広帯域 分光装置 Z-Spec の実観測性能 稲見華恵 (総合研究大学院大学)		V40c 太陽補償光学装置におけるソフトウェアと光学系の改良 三浦則明 (北見工業大学)
14:18	V29b AROMA による様々な突発性増光天体の自動モニターシステムの開発 高橋一郎 (青山学院大学)		V41c 太陽観測用液晶ポラリメーターの標準化と高精度化 花岡庸一郎 (国立天文台)
14:18	V30b 複眼望遠鏡の開発 宮脇牧子 (神戸大学)		V42c ヨードセル観測法における短期間視線速度測定精度改良の試み 神戸栄治 (国立天文台)
14:30	V31a JVO の研究開発 (全体進捗) 水本好彦 (国立天文台)		V43c 公共天文台を利用したトランジット法による太陽系外惑星観測 大石尊久 (北海道大学 / 名寄市立木原天文台)
14:42	V32b JVO の研究開発 (新機能のデモンストレーション) 白崎裕治 (国立天文台)	9月28日 (金) 午前・G会場	
14:42	V33b すばる観測データ品質評価システム NAQATA の試験運用 中島 康 (国立天文台)	09:30	V44a すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト：共同利用へむけて 早野 裕 (国立天文台)
14:42	V34b 高速分光システムの開発 磯貝瑞希 (広島大学)	09:42	V45a すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト：レーザーガイド星生成システムの開発 齊藤嘉彦 (国立天文台)
14:54	V35a 可視 15 色同時撮像カメラ DMC のファーストライト観測と性能評価 酒向重行 (東京大学)	09:54	V46a すばる望遠鏡高コントラスト撮像装置 HiCIAO の進捗報告 鈴木竜二 (国立天文台)

10:06	V47a 京都三次元分光器第2号器とすばる望遠鏡188素子補償光学系の接続のための光学系設計 松林和也(京都大学)	10:54	V57b ゼロ膨張ポアフリーセラミックスによる広島大1.5m望遠鏡用副鏡の製作 秋田谷 洋(国立天文台)
10:18	V48b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト:キャリブレーション光源の改修 渡辺 誠(国立天文台)	11:06	V58a 中間赤外線観測用冷却 Chopper の開発および試験観測による性能評価 中村友彦(東京大学)
10:18	V49b レーザー変位形を用いた可変形鏡の二次元振動形状の計測 大屋 真(国立天文台)	11:18	V59b すばる望遠鏡 Suprime-Cam データの位置較正 吉野 彰(国立天文台)
	V50c すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト:共同利用のための機能追加の概要 高見英樹(国立天文台)	11:18	V60b 偏光分光装置の開発 西田麻衣子(神戸大学)
	V51c すばる188素子補償光学系の動作パラメーター自動最適化システムの現状報告 服部雅之(国立天文台)	11:18	V61b MITSuME 望遠鏡の開発現状と観測状況 下川辺隆史(東京工業大学)
10:18	V52b MOIRCS用冷却 VPH グリズムの開発 市川 隆(東北大学)	11:30	V62b ガンマ線バースト可視光閃光観測カメラ WIDGET のデータ解析自動化の現状報告 小高夏来(埼玉大学)
10:30	V53a すばる「IRCS」高分散分光器ユニットの開発 寺田 宏(国立天文台)		V63c Miyazaki Wide-field Monitor(MWM)の改装と観測の現状 廿日出 勇(宮崎大学)
10:42	V54a 近中間赤外用イマージョン回折格子の開発II - Si製イマージョンテストピースの光学試験 池田優二(フォトコーディング)	9月28日(金)午後・G会場	
10:54	V55b 近中間赤外用イマージョン回折格子の開発III - 切削技術によるZnSe製回折格子サンプル製作とその光学評価結果 池田優二(フォトコーディング)	13:30	V64a MEMS マイクロシャッタの実機開発 高橋巧也(東京大学)
10:54	V56b 金属切削曲面鏡の簡易高さ測定システムの開発と測定 佐藤圭悟(茨城大学)	13:42	V65a VTOSによって得られたスペckルデータの処理 桑村 進(北見工業大学)
		13:54	V66a TAMA300の現状(19) 新井宏二(国立天文台)
		14:06	V67a レーザー干渉計を用いた超高周波重力波検出器の開発II 阿久津智忠(東京大学)
		14:18	V68a マウナケア山頂リアルタイム地震警報システム構想 家 正則(国立天文台)

W. 飛翔体観測機器

		9月26日(水) 午後・H会場	
14:30	V69a TAO 望遠鏡建設のためのアタカマ調査 8: チャナントール山頂での雲量調査 宮田隆志 (東京大学)	14:00	W01a スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 (8) 川村静児 (国立天文台)
14:42	V70a TAO 望遠鏡建設のためのアタカマ調査 9: チャナントール山頂のシーイング環境 本原顕太郎 (東京大学)	14:12	W02a JEM-EUSO ミッション 戎崎俊一 (理化学研究所)
	V71c SODAR 乱流強度の微小熱擾乱への較正 浦口史寛 (国立天文台)	14:24	W03a JEM-EUSO 光学系 滝澤慶之 (理化学研究所)
	V72c 中国西部域での天文観測サイト調査 2007 吉田道利 (国立天文台)	14:36	W04a JEM-EUSO 焦点面 川崎賀也 (理化学研究所)
14:54	V73a 南極ドームふじ基地における 220 GHz 帯大気透過率の測定 石井 峻 (筑波大学)	14:48	W05a JEM-EUSO 観測装置 梶野文義 (甲南大学)
15:06	V74a 大気位相揺らぎの仰角依存性の統計解析 西尾正則 (鹿児島大学)	15:00	W06a 全天 X 線監視装置の開発状況 富田 洋 (宇宙航空研究開発機構)
15:18	V75a 大地熱雑音遮蔽パネルなどによる那須干渉計の高感度化 大師堂経明 (早稲田大学)	15:12	W07a 国際宇宙ステーション搭載 MAXI 用 X線 CCD カメラ SSC の開発の現状 宮田恵美 (大阪大学)
		15:24	W08a 国際宇宙ステーション搭載 MAXI 用ガススリットカメラ (GSC) の開発の現状 鈴木素子 (宇宙航空研究開発機構)
		15:36	W09a 全天 X 線監視装置 MAXI の突発天体発見及び速報システム 斉藤裕紀 (日本大学)
		15:48	W10b 全天 X 線監視装置 (MAXI) シミュレータの設計と開発状況 江口智士 (京都大学)
		15:48	W11b 全天 X 線監視装置 MAXI のデータ解析システムの現状 高橋知義 (日本大学)
		15:48	W12b X線 CCD カメラ (SSC) 冷却用新世代ヒートパイプのフライトモデル試験 上野史郎 (宇宙航空研究開発機構)

16:00	W13b 国際宇宙ステーション搭載 CALET ガンマ線バーストモニタ (GBM) の 開発 (I) 山岡和貴 (青山学院大学)	10:54	W24b ASTRO-G/VSOP-2 8GHz 帯受信 機の開発 木村公洋 (大阪府立大学)
16:00	W14b Si ドリフトチェンバーを用いた次世 代ガンマ線バースト検出器の開発(III) 土土田享彬 (青山学院大学)	11:06	W25b ASTRO-G/VSOP-2 搭載用 8GHz 帯マルチモードホーンの開発 利川達也 (大阪府立大学)
9月27日(木) 午前・H会場			
09:30	W15a JASMINE (赤外線位置天文観測) 計画の進捗状況 山田良透 (京都大学)	11:06	W27b フィルムレンズアンテナの受信実験 氏原秀樹 (国立天文台)
09:42	W16a JASMINE 計画のためのレーザー干 渉計型高精度望遠鏡ジオメトリモ ニターの研究開発 I 丹羽佳人 (京都大学 / 国立天文台)	11:18	W28b ASTRO-G 8GHz 帯ポーライザーの 開発 - タイムドメインによる検討 - 城山典久 (大阪府立大学)
09:54	W17a ミリ波スペース VLBI 衛星 VSOP2 計画: ASTRO-G プロジェクトの開 始 坪井昌人 (宇宙航空研究開発機構)	11:18	W29b ASTRO-G 搭載用 8 GHz 帯常温 HEMT アンプの開発 ~導波管入力型~ 黒住聡丈 (大阪府立大学)
10:06	W18a ASTRO-G/VSOP-2 軌道決定系の 検討 竹内 央 (宇宙航空研究開発機構)	W30c Astro-G 冷却受信機のためのポラ ライザー、断熱導波管、ホーン等の製 作 (I) 春日 隆 (法政大学)	
10:18	W19a VSOP-2 サイエンスワーキンググ ループ報告 亀野誠二 (鹿児島大学)	11:18	W31b 小型宇宙望遠鏡 TOPS による惑星 オーロラ・電磁圏観測の科学目標 土屋史紀 (東北大学)
10:30	W20a 地球型系外惑星直接探査ミッション における国際協力: TOPS と SEE- COAST 田村元秀 (国立天文台)	11:30	W32b 惑星宇宙望遠鏡 TOPS による木星 大気観測の検討 中島健介 (九州大学)
10:42	W21a 惑星宇宙望遠鏡 TOPS 計画 高橋幸弘 (東北大学)	11:30	W33b 小型宇宙望遠鏡 TOPS による水星・ 金星・火星流出大気観測の科学目標 寺田直樹 (情報通信研究機構)
10:54	W22b ASTRO-G/VSOP-2 衛星の機器開 発の現状 村田泰宏 (宇宙航空研究開発機構)	11:30	W34b 惑星専用小型宇宙望遠鏡 TOPS に よる金星・火星大気観測 中串孝志 (京都大学)
10:54	W23b Astro-G 観測信号デジタルリンク系 河野裕介 (国立天文台)		

9月27日(木) 午後・H会場			
13:30	W35a 赤外線天文衛星「あかり」の現状 村上 浩 (宇宙航空研究開発機構)	15:06	W47b テラヘルツ帯天文観測計画 (Tera-GATE 計画) に向けた気球望遠鏡開発 上塚貴史 (東京大学)
13:42	W36a 「あかり」衛星搭載近中間赤外線カメラ IRC の現状報告 和田武彦 (宇宙航空研究開発機構)	15:06	W48b テラヘルツ帯天文観測計画 (Tera-GATE 計画) に向けた検出器開発 渡辺健太郎 (宇宙航空研究開発機構)
13:54	W37b 赤外線天文衛星「あかり」冷却系の軌道上温度安定性 中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)	15:18	W49b 近赤外宇宙背景放射のロケット観測実験：CIBER - 搭載機器開発の現状 松浦周二 (宇宙航空研究開発機構)
13:54	W38b 「あかり」衛星による中間赤外線での全天サーベイ観測 石原大助 (東京大学)	15:18	W50b 「ひので」X線 CCD カメラの軌道上性能の評価 坂東貴政 (国立天文台)
13:54	W39b 銀河面、惑星の観測による「あかり」FIS 分光モードの較正と性能評価 村上紀子 (名古屋大学)	9月28日(金) 午前・H会場	
14:06	W40a 次世代赤外線天文衛星 SPICA 計画の現状 中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)	09:30	W51a すざく衛星搭載X線 CCD カメラ XIS の現状報告 打ち上げ後2年を経過して 林田 清 (大阪大学)
14:18	W41a SPICA コロナグラフ：進捗、とくに瞳マスク方式、PIAA 方式の原理検証実験について 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)	09:42	W52a 「すざく」搭載 X 線 CCD カメラ XIS の放射線バックグラウンドの解析 - バックグラウンドの起源の解明を目指して - 加藤菜々子 (宇宙航空研究開発機構 / 東京工業大学)
14:30	W42a 非対称ナル干渉と補償光学を融合した系外惑星直接検出のための超高コントラスト撮像法 (2) 西川 淳 (国立天文台)	09:54	W53a すざく衛星搭載 HXD-PIN 検出器のノイズイベント経年変化の調査 西野 翔 (広島大学)
14:42	W43a 次世代遠赤外線ゲルマニウム検出器の開発 III 永田洋久 (宇宙航空研究開発機構)	10:06	W54a 「すざく」衛星搭載硬 X 線検出器広帯域全天モニタ部 (HXD-WAM) の現状 (IV) 杉田聡司 (青山学院大学 / 理研)
14:54	W44a テラヘルツカメラの飛翔体搭載へ向けて 松尾 宏 (国立天文台)	10:18	W55b すざく衛星搭載 X 線 CCD カメラ XIS の較正線源イベントの経年変化 小澤 碧 (京都大学)
15:06	W45b Ultra-high Precision CTE Measurement of SiC for Cryogenic Space Telescopes 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)	10:18	W56b 「すざく」搭載 X 線 CCD カメラ XIS の Spaced-row Charge Injection の較正の状況 内山秀樹 (京都大学)
	W46c 次世代赤外線天文衛星 SPICA の冷却系開発の現状 杉田寛之 (宇宙航空研究開発機構)		

		9月28日(金) 午後・F会場
10:18	W57b すざく衛星搭載X線 CCDカメラ XIS の 2×2 モードと Window モードの較正 加藤 豪 (宮崎大学)	13:30 W70a NeXT 搭載 X 線望遠鏡の開発 II 小賀坂康志 (名古屋大学)
10:30	W58a Geant4 による、X 線 CCD の放射線バックグラウンド感受性に対する素子形状の影響の推定 尾崎正伸 (宇宙航空研究開発機構)	13:42 W71a NeXT 衛星搭載に向けた多層膜スーパーミラー硬 X 線望遠鏡の開発 岩原知永 (名古屋大学)
10:42	W59b X 線 CCD 用高速読みだし ASIC (MD01) を用いた次期 X 線天文衛星 NeXT 搭載用 CCD の性能評価 木村 公 (大阪大学)	13:54 W72a 気球搭載硬 X 線撮像観測実験 SUMIT 搭載位置検出型シンチレーション検出器の開発 加納康史 (名古屋大学)
10:42	W60b 光電子追跡型 X 線偏光計に用いるガス電子増幅フォイルの性能評価 阿部幸二 (東京理科大学 / 理研)	14:06 W73a イオンビームスパッタリング法による W/C 多層膜反射鏡の開発 佐々木直樹 (名古屋大学)
10:42	W61b 硬 X 線偏光観測気球実験 PHENEX 搭載用 CCD 太陽センサーの開発 太田征宏 (大阪大学)	14:18 W74a 次世代 X 線天文衛星 NeXT 搭載、硬 X 線撮像検出器 (HXI) に向けた開発の現状 渡辺 伸 (宇宙航空研究開発機構)
10:54	W62b X-mas 計画における斜入射型 X 線望遠鏡の開発 荻田喬行 (立教大学)	14:30 W75a 硬 X 線の精密な撮像分光観測に向けた多層 DSSD システムの開発の現状 奥山 翔 (東京大学)
10:54	W63b X-mas 計画における CCD の性能評価 後藤範光 (立教大学)	14:42 W76a 0.5mm 厚低ノイズ両面 Si-strip 検出器の開発 II 安田 創 (広島大学)
10:54	W64b CCD 用冷却装置の開発 宍戸洋一 (立教大学)	14:54 W77a シミュレーションを用いた次世代ガンマ線天文衛星 GLAST の感度評価 吉田広明 (広島大学)
11:06	W65b 新型干渉計の計画 柴田拓磨 (立教大学)	15:06 W78a 次世代衛星用通信規格 SpaceWire を用いたデータ取得系の開発とそのガンマ線検出器への応用 小高裕和 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)
11:06	W66b 透過型多層膜偏光計の開発 斉藤恒介 (立教大学)	
11:06	W67b 一体型基板を用いた高解像度短焦点 X 線望遠鏡の開発 田原 讓 (名古屋大学)	
11:18	W68a TES 型 X 線マイクロカロリメータのインピーダンス測定による特性評価 赤松弘規 (首都大学東京)	
11:30	W69a 8 入力 SQUID による TES 型 X 線マイクロカロリメータの 2 素子読み出し 木村俊介 (宇宙航空研究開発機構)	

X. 銀河形成

9月26日(水) 午前・E会場		9月26日(水) 午後・E会場	
10:00	X01a x86 プロセッサの SIMD 拡張命令を用いた SPH 法の高速度 吉川耕司 (筑波大学)	11:36	X12a 高赤方偏移クェーサー「APM08329+5255」の J-band 高分散分光観測と $z=3.5$ MgII 吸収線系 近藤荘平 (東京大学)
10:12	X02a 銀河系ハロー星の化学力学進化 中里直人 (会津大学)	11:48	X13a $z>2$ の銀河団候補の発見 小野寺仁人 (延世大学)
10:24	X03a 低密度領域で形成される銀河ハローでのサブハロー分布 福重俊幸 (K&F Computing Research)	12:00	X14b MOIRCS 分光観測による $z=2.48$ の原始銀河団の同定 田中 壺 (国立天文台)
10:36	X04a すばる XMM ディープフィールド可視光撮像観測とマルチバンドカタログ 古澤久徳 (国立天文台)	12:00	X15b MOIRCS を用いた BzK 銀河の近赤外分光観測 林 将央 (東京大学)
	X05c すばる XMM ディープサーベイにおける銀河 $z \sim 1-3$ の形成進化 古澤順子 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)	9月26日(水) 午後・E会場	
10:48	X06a 「あかり」北黄極領域銀河ディープサーベイ：現状と今後について 松原英雄 (宇宙航空研究開発機構)	14:00	X16a 減光曲線から探る高赤方偏移銀河進化 平下博之 (筑波大学)
11:00	X07a 「あかり」衛星による南黄極近傍領域の遠赤外ディープサーベイ 白旗麻衣 (宇宙航空研究開発機構)	14:12	X17a 階層的構造形成における Lyman Alpha Emitter の理論モデルの構築 小林正和 (京都大学)
11:12	X08a 「あかり」によるロックマンホール の遠赤外ディープサーベイ (2) 松浦周二 (宇宙航空研究開発機構)	14:24	X18a ライマン α 輝線銀河の光度関数で探る銀河進化と宇宙再電離 太田一陽 (理化学研究所)
11:24	X09b 「あかり」衛星 IRC を用いた中間赤外線無バイアス銀河分光サーベイ SPICY の現状 大山陽一 (宇宙航空研究開発機構)	14:36	X19a Extremely Large Over-Densities of Ly α emitters in SSA22 $z=3.1$ region 林野友紀 (東北大学)
11:24	X10b AKARI による RXJ1716 銀河団 ($z=0.81$) の中間赤外線深撮像 小山佑世 (東京大学)	14:48	X20a SSA22 $z \sim 3$ における形成期銀河の変光探索 森本奈々 (東北大学)
11:24	X11b ガンマ線バーストで探る高赤方偏移銀河と吸収線系の関係 美濃和陽典 (国立天文台)	15:00	X21a 原始銀河の非一様ガス構造における電離光子脱出確率 矢島秀伸 (筑波大学)
		15:12	X22b SSA22 領域における LAEs 形成モデルの検証 清水一紘 (筑波大学)

Y. 天文教育・その他

		9月26日(水) 午後・E会場	
15:12	X23b z=3.1, 3.7 の Lyman α 輝線銀河の近赤外測光 小野宜昭 (東京大学)	15:36	Y01a xy 色度図を用いたサイエンスデザイン 芝田たける (大阪教育大学)
15:12	X24b 巨大バイナリーブラックホール探査の新方法: 降着円盤からの X 線(UV)放射の周期的時間変動 早崎公威 (京都大学)	15:48	Y02a 宇宙時代の天文教育への提言 高橋典嗣 (明星大学)
15:24	X25a 銀河中心における巨大バイナリーブラックホールの進化 早崎公威 (京都大学)	16:00	Y03b 宇宙基本法案の内容とその問題点 石附澄夫 (国立天文台)
		16:00	Y04b 小惑星探査ミッション「はやぶさ」がもたらしたアウトリーチ効果 吉川 真 (宇宙航空研究開発機構)
		16:00	Y05b 京都大学 屋上望遠鏡の教育普及への利用例 久保田香織 (京都大学)
		16:12	Y06b 星のソムリエみたか・星空案内人養成講座の実施とその評価 - 科学文化による地域再生を目指して - 縣 秀彦 (国立天文台)
		16:12	Y07b 地域的特性を活かしたサイエンスパブの開催 高妻真次郎 (九州大学)
		16:12	Y08b 「星の語り部」山梨県立科学館を拠点とする市民コミュニティー 伊藤哲也 (国立天文台)
			Y09c 視覚しょうがい者と共に楽しむプラネタリウム ~番組副音声と点図星図の試み~ 高橋真理子 (山梨県立科学館)
		16:24	Y10b 赤道南北恒星図の等級データ解析と来歴調査 藤原智子 (国立天文台)
		16:24	Y11b トンデモ系(?)への科学普及 豊増伸治 (みさと天文台)

2007年8月20日発行

年会実行委員会

委員長	中本泰史	(東京工業大学)
委員	青木和光	(国立天文台)
	岡朋治	(東京大学)
	金田英宏	(宇宙航空研究開発機構)
	鹿野良平	(国立天文台)
	幸村孝由	(工学院大学)
	鈴木知治	(東京大学)
	本間希樹	(国立天文台)
	本原顕太郎	(東京大学)
	泉浦秀行	(国立天文台) 保育室担当

年会開催地理事

高羽浩 (東海大学)